

第22回 廃棄物資源循環学会研究発表会 参加案内

2011年11月3日(木)～11月5日(土)

東洋大学白山第二キャンパス

目次

○ 第22回 廃棄物資源循環学会研究発表会の開催にあたって.....	2
○ 開催行事一覧.....	3
○ 特別プログラム(一般公開企画・無料)	4
○ 国際シンポジウム・International Symposium	4
○ 行事案内.....	5
・研究発表(口頭発表・ポスター発表・国際セッション)	5
・市民展示・企画展示(一般公開企画・無料)	5
・施設見学会.....	5
・意見交換会.....	5
○ 一般セッション.....	6
○ International Hybrid Session.....	19
○ 企画セッション.....	21
○ 参加申込方法.....	25
○ 発表ガイドライン	26
・口頭発表.....	26
・ポスター発表・国際セッション.....	26
○ 会場へのアクセス・来校者への注意事項.....	27
○ 会場案内図	28
○ 緊急時の問い合わせ先.....	30
○ 協賛団体.....	31
○ タイムスケジュール.....	32

ご注意 ～例年と異なる点があります。必ずお読みください。～

- 1. 参加申込みについて**
 - ・事前に参加申込された方は、10月中旬に参加証およびCD-ROM版論文集を郵送いたします。当日受付の必要はありません。直接会場へお越しください。
 - ・当日参加申込された方には、受付にて、参加証およびCD-ROM版論文集をお渡し致します。
 - ・印刷製本版は作成しません。また、当日会場でのプリントサービスも行いません。
- 2. 会場アクセス・来校者への注意事項 (p.27)**
 - ・会場の白山第二キャンパスは、住宅地にあるため、登下校時は静粛にお願い致します。
 - ・会場キャンパスは、自家用車、自動二輪車、自転車での来校を禁じております。公共交通機関を用いてご来校ください。
 - ・登下校の順路も決まっておりますので、地図(p.27)でご確認の上、誘導員の指示に従って通行ください。
 - ・会場キャンパス内は指定場所以外禁煙となっております。また、文京区は歩行喫煙禁止条例を制定しており、歩きタバコが禁止されている他、地下鉄駅出口付近での喫煙も禁止されております。
- 3. 屋食場所**
 - ・学会開催時はキャンパス内の食堂(座席数に限りあり)は営業予定です。
 - ・今年は会場での弁当・お茶の販売は行いません。また、近隣で屋食がとれるレストランなども限られておりますので、時間に余裕のない方は屋食および飲み物の持参をおすすめします。
 - ・会場の休憩室等で飲食していただくことが可能です。その際、発生するごみについては、会場内の休憩室において回収します。キャンパス内に大学が設置しているゴミ箱は利用されないようお願いいたします。

第 22 回 廃棄物資源循環学会研究発表会の開催にあたって

第 22 回廃棄物資源循環学会研究発表会
実行委員会委員長
東洋大学 国際地域学部国際地域学科 教授 北脇 秀敏



第 22 回廃棄物資源循環学会研究発表会によるこそ。

今回は研究発表会の歴史の中で初めて東京都内の大学での開催となります。開催場所である文京区は東京の中でも大学が多い文教地区として知られています。会場の東洋大学白山第二キャンパスは、小石川植物園に隣接する閑静な住宅街に平成 18 年に開設されました。研究発表会が行われる 11 月 3 日から 5 日には、会場から徒歩約 7 分の同大学白山キャンパスで学園祭も行われています。足を延ばして学生時代の楽しく懐かしい雰囲気味わっていただくのも良いかもしれません。

発表会の準備段階を振り返ってみますと、今年 3 月 11 日、まさに実行委員幹事会を開催している最中、東日本大震災が発生しました。早々に幹事会を解散したあと報道等で津波被害の甚大さを知り、言葉を失いました。それに加えて原子力発電所の事故などによる放射性物質の拡散の問題は、わが国がかつて経験したことのない規模の問題となっています。今なお多大な困難に直面しておられる被災地の方々には心よりお見舞いを申しあげますとともに、研究発表会をこうした問題の解決に寄与するための情報提供の場にできるようにと考えてきました。

今回の研究発表では特別プログラム「震災に対して廃棄物資源循環学会が貢献できることは何か？」を企画しています。被災地の復興には災害により発生した廃棄物の速やかで適切な処理が不可欠ですが、震災直後から学会が立ち上げた災害廃棄物対策・復興タスクチームの災害廃棄物への取組みと課題をとりあげました。また喫緊の課題である放射性物質を含む廃棄物への対応についても議論します。

一方、日韓の専門家を中心に開催する国際シンポジウム（使用言語：英語）では、両国で問題となっている水銀を含む廃棄物の処理などを議論することになっています。また市民展示・企画では文京区の市民活動や環境漫画家の高月紘先生（ハイムーン氏）のモンゴルでの展示会の様子などを展示します。施設見学は最終日に東京都のスーパーエコタウン施設の見学を、意見交換会は 2 日目の夕方に会場内の学食で予定しています。

今回の研究発表会の会場は都心の手狭な大学キャンパスを会場として開催するため、参加者の皆様には何かとご不便をおかけすることになると思いますが、実行委員一同、多くの方がお越しになって研究交流と懇親とを深めていただけることを願っております。

開催行事一覧

行 事		日 時	会 場	備 考 な ど
特別プログラム		11月4日(金) 14:45 - 17:45	B棟2階 B211教室	一般公開企画(無料) p.4をご覧ください
国際シンポジウム International symposium		11月3日(木) 13:00 - 15:00	B棟1階 B111教室	p.4をご覧ください 使用言語: 英語
研 究 発 表	口頭発表	11月3日(木) 9:30 - 15:00 11月4日(金) 9:00 - 10:30 11月5日(土) 9:00 - 12:15	p.6 - 18をご覧ください	
	ポスター発表	ポスター1 11月3日(木) 17:00 - 18:15 ポスター2 11月4日(金) 13:15 - 14:30	E棟1階多目的室	p.6 - 18を ご覧ください
	International Hybrid Session	Short Oral Presentation Nov. 3 (Thu) 15:15 - 16:45 Poster Presentation Nov. 3 (Thu) 17:00 - 18:15	B111, 1F Building B 1F, Building E	p.19 - 20を ご覧ください
企画セッション		11月3日(木) 15:15 - 16:45 11月4日(金) 9:00 - 12:15 11月5日(土) 10:45 - 12:15	p.21 - 24をご覧ください 実行委員会、各研究部会の企画によるものです。	
市民展示・企業展示		11月3日(木) - 5日(土)	B棟2階ホワイエ	一般公開企画(無料) p.5をご覧ください
施設見学会		p.5 および同封のお知らせをご覧ください。		
同時 開催	全国環境研協議会 廃棄物資源循環学会 年会併設研究発表会	11月4日(金) 9:00 - 12:00	B棟3階 B303教室	主催者連絡先: 奈良県保健環境研究セ ンター 0742-20-2882
意見交換会		11月4日(金) 18:00 - 20:00	C棟2階 カフェテリア	p.5をご覧ください

震災に対して廃棄物資源循環学会が貢献できることは何か？

11月4日（金）14:45-17:45 B棟2階B211教室

2011年3月11日の東日本大震災においては、倒壊建物による災害廃棄物に加え、巨大な津波による災害廃棄物が発生し、これらの廃棄物が災害対応の初動時より大きな課題となってきました。このような災害廃棄物の適切かつ迅速な処理が、地域の復旧・復興において必須であることは言うまでもありません。また、近い将来には、東海・東南海・南海地震の発生が危惧されており、今回と同様に大きな災害が起こることが懸念されています。

これらのことから、廃棄物資源循環学会では、今回の東日本大震災における災害廃棄物に関して、直近でできる支援を行いつつ、これを記録に残すとともに、詳細な調査研究の実施により学術的・体系的な知見として取りまとめることを目的に、「災害廃棄物対策・復興タスクチーム」を発足させ、災害廃棄物に関する現地調査から地域の方々との廃棄物対策に関する協働作業を進めてきました。日本学術会議からの緊急提言発信への協働、災害廃棄物分別・処理戦略マニュアルの作成と発信、津波堆積物処理指針案作成への協力など、具体的な取組みも多行ってきました。

本シンポジウムでは、第1部でタスクチームによる東日本大震災の災害廃棄物への取り組みと課題について、第2部で放射性物質を含む廃棄物への対応と課題について議論したいと思います。本プログラムは、市民公開ですので、多くの方の聴講をお待ちしております。

第1部 タスクチームによる東日本大震災の災害廃棄物への取り組みと課題

コーディネーター	酒井 伸一	京都大学	東日本大震災への学会の対応
パネラー	吉岡 敏明	東北大学	タスクチームの現地での取り組み
	浅利 美鈴	京都大学	災害廃棄物分別・処理戦略マニュアル
	大迫 政浩	国立環境研究所	政策展開とその支援
	遠藤 守也	仙台市	被災自治体の経験と学会への要望

第2部 放射性物質を含む廃棄物への対応と課題

コーディネーター	森口 祐一	東京大学	概要説明
パネラー	高岡 昌輝	京都大学	廃棄物処理の専門家の立場から
	森 久起	原子力研究バックエンド推進センター	放射性廃棄物の専門家の立場から
	(調整中)	環境省	政策担当者の立場から
	崎田 裕子	ジャーナリスト・環境カウンセラー	持続可能な社会をつくる元気ネット 市民の立場から

国際シンポジウム・International Symposium

「廃棄物処理における水銀管理」

Mercury Management in Solid Waste Sector

11月3日（木）13:00-15:00 B棟1階B111教室

乾電池や蛍光灯などをはじめとして廃棄物中に含まれる廃棄物処理における水銀処理は以前から問題となってきました。日本でも焼却施設に水銀を含む廃棄物が大量に搬入され、焼却処理が中断する事故が起こったことは記憶に新しいことです。また国際的に越境移動する水銀が問題となっており、有害廃棄物の越境移動を規制するバーゼル条約に加え、世界的な水銀条約制定の取り組みもなされています。この国際シンポジウムでは日韓で問題となっている水銀の課題を廃棄物処理の観点から国内的・国際的にさまざまな方向から検討し、意見交換を行うことを目的としています。

プログラム

講演1	環境省環境保健部環境安全課	甲斐 文祥
講演2	韓国 National Institute of Environmental Research	Dr. Shin, Sun Kyoung
講演3	京都大学	教授 高岡 昌輝
講演4	韓国 Yonsei University	Prof. Seo, Yong Chil
討論		
司会:	Chonnam National University 愛媛大学	Prof. Lee, Weon Joon 客員教授 貴田 晶子

使用言語: 英語

行事案内

研究発表（口頭発表・ポスター発表・国際セッション）

発表予定件数:300 編(口頭発表:187 編、ポスター発表:86 編、国際セッション:27 編)

ポスター発表に対して「優秀ポスター賞」の表彰を行います。
後日、廃棄物資源循環学会ホームページに掲載いたします。

詳細はセッションプログラム(p.6 - 20)をご覧ください。

国際セッションは、90 秒の口頭発表終了後にポスターの掲示発表の両方を行います(ハイブリッドセッション)。

市民展示・企業展示（一般公開企画・無料）

- 期間: 11月3日(木)10:30 - 11月5日(土)12:00
- 場所: B棟2階ホワイエ
- 内容: 廃棄物資源循環にかかわっている市民グループによる展示を行います。また、協賛企業によるパネル展示も行います。

施設見学会

東京都スーパーエコタウン建設廃棄物中間処理施設見学会

東京都スーパーエコタウン事業の選定を受けた二つの建設廃棄物中間処理施設を見学する会を企画致しました。見学施設は、大都市における建設廃棄物の自域内処理を目指して、新しいリサイクルモデルを羽田空港近くの東京・湾岸から発信しています。皆様方のご参加をお待ちしております。

- 開催日時: 11月5日(土) 9:00 - 12:00
- 集合解散場所: JR 京浜東北線大森駅(予定) ※参加決定の方に別途連絡致します。
- 見学施設:
 - (1) 株式会社リサイクル・ピア 東京エコタウン工場（東京都大田区城南島 3-4-3）
新築系のみならず解体・内装・改装などの工事、工場廃棄物などの多様な建設廃棄物を受入れ、高い再資源化率を達成している施設です。(参考ホームページ: <http://www.r-p.co.jp/>)
 - (2) 成友興業株式会社 城南島工場（東京都大田区城南島 3-4-3）
建設工事現場から発生する汚泥とがれき類等を受入れ、高品質の改良土と再生砕石を製造して 100%リサイクル化を目指す施設です。(参考ホームページ: <http://www.seiyukogyo.co.jp/business/ecotown.html>)
- 参加費用: 1名 1,500円
- 参加定員: 30名（先着順に受付）
- 申込み方法: 別添の施設見学会参加申し込み票をご参照ください。(締切:9月22日(木))
- 注意事項: 施設見学会の参加には研究発表会への参加が必要です。(参加費は、学会からの補助により低く抑えられています。) 研究発表会の事前申し込みもあわせて行ってください。また、申込みにあたっては、セッションプログラムを十分にご確認の上、お申込みくださるようお願いいたします。

意見交換会

- 日時: 11月4日(金) 18:00 - 20:00
- 場所: C棟2階カフェテリア
- 参加費: 参加申込方法(p.25)をご覧ください。事前申込割引をぜひご利用ください。
- 申込方法: 【事前申込】同封の研究発表会申込書にてお申込みください。
※事前申込後、不参加の場合でも参加費の返金はいたしません。
【当日申込】2日目(11月4日)午前から受付します。

一般セッション

A1 ごみ発生・排出抑制

- 【 11月3日(木) 第7会場 13:30-15:00 】 座長：渡辺 浩平(帝京大学)
- A1-1 家庭系広告媒体由来廃棄物の発生抑制に関する研究
京都大学 ○李 鎔一、矢野 順也、浅利 美鈴、酒井 伸一
 - A1-2 ダイレクトメール等に関する2R行動の現状と受容性評価
京都府立大学 ○山川 肇
 - A1-3 加工食品・調理済み食品を対象とした容器包装の実態調査と発生抑制の検討
加藤商事(株) ○佐々木 由佳 立命館大学 橋本 征二 東京大学 森口 祐一
 - A1-4 販売事業者による容器包装の削減可能性—肉の袋売りの受容性とトレイ使用の実態
京都府立大学 ○齋藤 友宣 尼崎市 井奥 沙織 京都府立大学 山川 肇
 - A1-5 感染性産業廃棄物の国内排出量の推計
(財)日本産業廃棄物処理振興センター ○武田 雄志、尾崎 弘憲
 - A1-6 民生由来の漂着ごみの指標としてのライターの特異性
鳥取大学 ○岡野 多門、安東 重樹、安本 幹
 - Poster1 A1-7 ファストフード店内飲食で発生する容器包装ごみの状況
大阪工業大学 ○半田 拓也、柴田 悠吾 (株)合通 吉永 亜未 大阪工業大学 福岡 雅子
 - Poster2 A1-8 東京大学における廃棄物分別収集の効果と再資源化の検証
東京大学 ○横山 道子、山本 和夫、新井 充、渡邊 壽夫、佐藤 貴文
東京大学けやきの会 小長谷 忠春、遠藤 住子、山田 和枝、柴田 陽子
 - Poster2 A1-9 東京都内の不燃ごみ中に含まれる小型電子機器等の蛍光X線分析による簡易定量分析
(財)東京都環境整備公社 ○茂木 敏 東京都 山崎 幸一 (財)東京都環境整備公社 辰市 祐久
首都大学東京 荒井 康裕、小泉 明
 - Poster2 A1-10 小都市における生ごみおよび木くずごみの自家処理について
岩手大学 ○晴山 渉、佐藤 直、中澤 廣、鳴海 貴之 久慈市 宮澤 誠、夏井 正悟
岩手大学 関本 勇生

A2 経済的手法・リサイクル評価

- 【 11月3日(木) 第6会場 9:30-10:45 】 座長：山川 肇(京都府立大学)
- A2-1 ベトナム国ハノイ市における有価物の分別排出の傾向と要因に関する調査
(独)国立環境研究所 ○河井 紘輔、大迫 政浩、山田 正人
 - A2-2 大連市における生活ごみ処理の現状・課題・改善策
東洋大学 ○呂 美杰
 - A2-3 バッズのグッズ化の可能性を考察する需給均衡モデル
西南学院大学 ○小出 秀雄
 - A2-4 処理技術を考慮した有機系廃棄物と廃熱の価値の評価法の提案
京都大学 ○前 奈緒子、勝見 武、乾 徹、前 一廣
 - A2-5 プラスチックトレイの店頭回収や材料リサイクルの残渣のリサイクルを含むプラスチック製容器包装のリサイクル
の環境負荷とコスト評価
東京大学 ○西島 亜佐子、中谷 隼、山本 和夫、中島 典之
 - Poster2 A2-6 使用済み弁当容器の回収システムの分類 —大学生協へのヒアリングをもとに—
福島大学 ○沼田 大輔
 - Poster1 A2-7 高齢世帯におけるごみ搬出行動負荷の実態
福岡大学 ○鈴木 慎也、立藤 綾子、松藤 康司

A3 住民意識・環境教育

- 【 11月4日(金) 第5会場 9:00-10:30 】 座長：篠木 幹子(中央大学)
- A3-1 衣料品の再利用に関する消費者意識の調査
武庫川女子大学 ○岸川 洋紀、嶋口 茉由加
 - A3-2 循環指標に関するインターネット調査の傾向スコア法による補正
京都大学 ○桜井 健太、平井 康宏、酒井 伸一
 - A3-3 中学生における環境意識の3次元と環境教育の効果
岩手県立大学 ○阿部 晃士 中央大学 篠木 幹子
 - A3-4 コンジョイント分析を用いた環境情報の提供によるリサイクル行動の促進可能性の検討
東京大学 ○中谷 隼、石野 隆之、栗栖 聖、花木 啓祐
 - A3-5 オンラインゴミマップを用いた河川における漂着ごみのモニタリング
大阪商業大学 ○原田 禎夫
 - A3-6 ジャカルタ市の地域環境力(ソーシャルキャパシティ)に関する研究(第3報)
名古屋大学 ○岡山 朋子
 - Poster2 A3-7 水俣市の中学生のごみ分別行動に対する環境教育の影響の検討
中央大学 ○篠木 幹子 岩手県立大学 阿部 晃士
 - Poster2 A3-8 ごみ分別実施における負担意識および行動実践価値の評価
龍谷大学 ○白川 まりな、占部 武生 (独)国立環境研究所 石垣 智基

一般セッション

A4 廃棄物行政

【 11月3日(木) 第7会場 11:00-12:15 】

座長：福岡 雅子(大阪工業大学)

- A4-1 3R 行動やごみ分別・排出行動と地域内外のネットワークとの関連
北海道大学 ○大沼 進、森 康浩、白 晶
- A4-2 焼却施設等における啓発活動の担い手調査
大阪産業大学 ○花嶋 温子
- A4-3 EPR(拡大生産者責任)政策・廃棄物政策における行政関与の違い～米国カリフォルニア州の事例をもとに～
(独)国立環境研究所・ルンド大学 ○田崎 智宏 ルンド大学 東條 なお子
- A4-4 NGOによる3R経験の移転(ベトナム・ホイアン市におけるケーススタディ)
(株)ダイナックス都市環境研究所 ○山本 耕平
- A4-5 旭川市廃棄物最終処分場監視委員会・協議会における8年間の取り組み
北海道大学 ○松藤 敏彦 室蘭工業大学 吉田 英樹

A5 廃棄物管理/計画

【 11月3日(木) 第7会場 9:30-10:45 】

座長：谷川 昇((財)日本産業廃棄物処理振興センター)

- A5-1 高密度市街地における清掃工場立地と地価
(財)東京都環境整備公社 ○橋本 治 日本大学理工学部 三橋 博巳
- A5-2 ETCを活用した建設廃棄物の運搬管理システムの開発と導入
(財)関西環境管理技術センター ○水田 和真、武甕 孝雄 東洋建設(株) 高田 晴夫
阪神高速道路(株) 建部 実、五反田 英雄 阪神高速技術(株) 富澤 康雄、山口 良弘
(株)高速道路開発 今木 博久 京都大学 勝見 武 香川高等専門学校 嘉門 雅史
- A5-3 静脈システムにおける安全・安心対応策に関する検討
早稲田大学 ○高野 聡、関 悠一郎、切川 卓也、永田 勝也
- A5-4 大規模焼却施設への集約によるエネルギー収支及び二酸化炭素排出量への影響に関する研究
静岡県立大学 ○戸敷 浩介
- A5-5 地理情報システムを用いたアジア都市における低炭素都市ごみ収集処理計画に関する研究
岡山大学 ○濱田 智史、マッド レジャブ シティ ノルバイズラ、藤原 健史

A6 ごみフロー・物質フロー

【 11月5日(土) 第7会場 10:45-12:00 】

座長：金子 泰純(和歌山大学)

- A6-1 一般廃棄物焼却炉から排出されるカドミウム量の経年変化
(独)産業技術総合研究所 ○小野 恭子
- A6-2 鉛フリーはんだ代替がマテリアルフローに与える影響
(独)産業技術総合研究所 ○布施 正暁、恒見 清孝
- A6-3 家庭系有害廃棄物(製品)の保有実態把握のための家庭訪問調査
京都大学 ○浅利 美鈴 日本製紙(株) 山下 真貴子 京都大学 酒井 伸一
- A6-4 ベトナムにおける廃品回収リサイクルの経済的解析手法の確立
(株)ベトナムジャパン環境技術 ○二松 雅之 天然資源環境戦略政策研究所 Nguyen Trung Thang
ハノイ土木工科大学 Leu Tho Bach
- A6-5 バイオマス利用事例における地域活性化要因の抽出と因果関係の図式化
(独)国立環境研究所 ○稲葉 陸太、松橋 啓介 (独)農業・食品産業技術総合研究機構 柚山 義人
(独)土木研究所 岡本 誠一郎 岩手大学 伊藤 幸男 芝浦工業大学 栗島 英明
- Poster2 A6-6 副生塩排出量実態調査に関する研究
福岡大学 矢羽田 聡彦、○川鍋 良治、加藤 隆也、為田 一雄、樋口 壯太郎
- Poster2 A6-7 使用済み家電の回収のマルチエージェントシミュレーション
東京大学 ○菅原 聖史、榊原 知也、村上 進亮、山富 二郎

Poster 1:	11月3日(木)	E棟多目的室(1F)	17:00-18:15
Poster 2:	11月4日(金)	E棟多目的室(1F)	13:15-14:30

一般セッション

A7 LCA・低炭素社会

【 11月4日(金) 第3会場 9:00-10:30 】

座長：石井 一英(北海道大学)

- A7-1 豊島処分地における GPS 測量と LCA 評価に関する研究
早稲田大学 ○中村 拓哉、永田 勝也、切川 卓也、築山 亮
- A7-2 名古屋市におけるごみ処理システムの環境負荷評価
愛知工業大学 ○鳥居 雅隆 名古屋産業大学 成田 暢彦、小川 克郎
- A7-3 加賀市バイオマスタウン構想に対する温室効果ガス排出量の定量化
北陸先端科学技術大学 ○樽田 泰宜、中森 義輝
- A7-4 企業における資源循環評価と財務パフォーマンスに関する研究
早稲田大学 ○伊藤 由宣、永田 勝也
- A7-5 下水泥バイオマス燃料化技術のエネルギー・CO₂評価と需給バランス
和歌山大学 ○中西 修司、吉田 登
- A7-6 生鮮野菜の宅配に関する LCA 研究
京都府立大学 ○中村 悠、山川 肇
- Poster1 A7-7 廃棄物等からのエネルギー回収技術と将来展望に関する調査研究
(株) エイト日本技術開発 ○中山 伸吾 (独) 国立環境研究所 川本 克也

A8 海外調査

【 11月4日(金) 第6会場 9:00-10:30 】

座長：小島 道一(日本貿易振興機構アジア経済研究所)

- A8-1 イラクにおける廃棄物処理体制復興の現況と課題
(独) 国際協力機構 ○吉田 充夫
- A8-2 アフリカ地域の都市廃棄物管理の経済成長レベル及び都市人口との関係に関する考察
(独) 国際協力機構 ○青木 一誠 (独) 国際協力機構・東京工業大学 吉田 充夫
- A8-3 エクアドル共和国における地域環境と治安との関係に関する研究
(社) 青年海外協力協会 ○熊谷 とも絵 東洋大学 北脇 秀敏
- A8-4 タイにおける産業分類別の副産物(産業廃棄物・有価発生物)発生状況の推計
三菱UFJ リサーチ&コンサルティング(株) ○佐々木 創
- A8-5 開発途上国廃棄物管理における市民のハートウェアのあり方-スリランカを事例に-
東京工業大学 ○清水 研、吉田 充夫、原科 幸彦
- A8-6 生ごみコンポスト事業に関するアジア都市間ネットワーク化支援
(独) 国際協力機構 ○田村 えり子
(財) 地球環境戦略研究機関 ジャガット プレマクマラ ディキャラガマララゲ、廣畑 和祥

A9 国際循環・越境移動

【 11月5日(土) 第7会場 9:00-10:30 】

座長：浅利 美鈴(京都大学)

- A9-1 循環資源の越境移動に対するトレーサビリティ管理方策に関する検討
(財) 地球環境戦略研究機関 ○林 志浩
- A9-2 金属スクラップ(雑品)の回収・取扱状況に関する調査
(独) 国立環境研究所 寺園 淳、○吉田 綾
- A9-3 動脈ビジネスと静脈ビジネスの海外技術移転における相違点に関する一考察
(株) 九州テクノリサーチ ○佐藤 明史、池隅 達也
- A9-4 中国における E-Waste からの有色金属・レアメタル資源戦略と再資源化法策に関する研究
立命館大学 ○王 舟、杜 歆政、小幡 範雄
- A9-5 使用済み電気・電子製品の国際資源循環の適正化-情報の管理の観点からの関連国際政策プロセスの今後のあり方に関する一考察-
(財) 地球環境戦略研究機関 ○粟生木 千佳、林 志向、十時 義明
- A9-6 ディスポーザブルライターを使用した日本を起源地とする海洋ごみの北太平洋への影響
鹿児島大学・(社) JEAN ○藤枝 繁 (社) JEAN 大倉 よし子、小島 あずさ

一般セッション

A10 ごみ文化・歴史

【 11月3日(木) 第6会場 11:00-12:15 】

座長:小林 正自郎 (JFE エンジニアリング(株))

- A10-1 昭和戦時下の資源回収(第二報)ー集団回収の体制ー
稲村技術士事務所 ○稲村 光郎 (財) 廃棄物研究財団 八木 美雄
- A10-2 戦前期東京市近郊における尿尿流通網の再形成
慶應義塾大学 ○星野 高德
- A10-3 関東大震災後の東京市周辺における焼却炉建設ブームとその顛末
○溝入 茂
- A10-4 廃棄物処理事業のステータスの向上とリサイクルという言葉の貢献
(財) 日本環境衛生センター ○大澤 正明
- A10-5 居住地単位のコミュニティという概念がほとんどないダッカ市での住民参加型廃棄物管理の導入について
オリエンタルコンサルタンツ(株) ○岡本 純子 八千代エンジニアリング(株) 石井 明男
ダッカ市 久保田 尚子、ハスナット アラム、パラブ ダブノ、ショリフ アーム
- Poster2 A10-6 地域住民の慣習、民間収集業者の業務と協調しながらのダッカ市の収集改善の取り組みについて
八千代エンジニアリング(株) ○石井 明男、荒井 隆俊 オリエンタルコンサルタンツ(株) 岡本 純子
ダッカ市 リアド モハメド、ハスナット アラム、パラブ ダエラ、ショリフ アラム

A11 災害廃棄物

【 11月3日(木) 第2会場 13:30-15:00 】

座長:大迫 政浩 ((独) 国立環境研究所)

- A11-1 東日本大震災を教訓とした被災ガレキ量推定方法に関する考察
仙台環境開発(株) ○高谷 敏彦、佐藤 真哉 北海商科大学 大内 東
- A11-2 2011年東日本大震災における津波廃棄物発生量の推定
京都大学 ○平山 修久 人と防災未来センター 奥村 与志弘 関西大学 河田恵昭
- A11-3 東日本大震災における産学官協働による災害廃棄物処理に関する考察
仙台環境開発(株) ○大内 東、高谷 敏彦、佐藤 真哉
- A11-4 地震災害廃棄物の処理計画支援ツールの構築ー時間・費用最適化による廃棄物の分配計画モデルー
(独) 国立環境研究所 ○加用 千裕 (財) 日本環境衛生センター 立尾 浩一
(独) 国立環境研究所 石垣 智基、遠藤 和人、山田 正人
- A11-5 木質バイオマスを利用した岩手県における震災復興シナリオの検討
(独) JST 低炭素社会戦略センター ○磐田 朋子 (独) 産業技術総合研究所 楊 翠芬
(独) JST 低炭素社会戦略センター 木村 道德、吉岡 剛、野村 恭子 東京大学 橘高 彰宏
- A11-6 災害廃棄物処理における放射能の現地簡易測定
(株) ウエスコ 宗村 邦嗣 北海道資源循環研究所 ○田野崎 隆雄
(株) フジタ 木村 健一 大阪市立大学 水谷 聡、貫上 佳則
- Poster2 A11-7 津波被害木材中の塩類濃度の簡易計測法
秋田県大学 木材高度加工研究所 ○山田 肇、山内 秀文、栗本 康司
- Poster2 A11-8 宮城県における災害廃棄物処理の課題と政策決定プロセスの現状分析
東北大学 ○齋藤 優子、劉 庭秀
- Poster2 A11-9 東北地方太平洋沖地震・津波による三陸沿岸域における廃棄物および堆積物等の発生特性
八戸工業大学 ○鈴木 拓也、根水 大輔、若林 竜也、吉田 孝洋、太田 浩弥
大高 大介、千葉 岳彦、福士 憲一
- Poster1 A11-10 災害廃棄物仮置場における堆積廃棄物の安全性評価
(独) 国立環境研究所 ○遠藤 和人、山田 正人 大阪湾広域臨界環境整備センター 高田 光康
- Poster2 A11-11 画像をベースとした東日本大震災の廃棄物発生量に関する推計
岡山大学 ○藤原 健史、濱田 智史、中村 彰太
- Poster2 A11-12 東日本大震災の災害廃棄物におけるアスベスト対策
(独) 国立環境研究所 ○寺園 淳、遠藤 和人、山本 貴士
- Poster1 A11-13 震災で発生した海水被り廃木材および海中がれき廃木材の塩素含有量
(独) 国立環境研究所 倉持 秀敏、○滝上 英孝 京都大学 浅利 美鈴、酒井 伸一

Poster 1:	11月3日(木)	E棟多目的室(1F)	17:00-18:15
Poster 2:	11月4日(金)	E棟多目的室(1F)	13:15-14:30

一般セッション

B1 電気電子製品／自動車リサイクル

【 11月3日(木) 第2会場 9:30-10:45 】

座長：藤井 実 ((独) 国立環境研究所)

- B1-1 フェノール基板の水蒸気ガス化による有用資源の回収
(独) 産業技術総合研究所 ○加茂 徹、小寺 洋一 千葉大学 中込 秀樹 東京工業大学 吉川 邦夫、張 尚中
- B1-2 高濃度の鉄を含有する再生アルミニウム合金中の化合物品出挙動
地方(独) 東京都立産業技術研究センター ○山田 健太郎、上本 道久
- B1-3 希少資源性に着目した小型家電の環境負荷評価
早稲田大学 ○関 悠一郎、中嶋 崇史、若林 英佑、小野田 弘士、永田 勝也
- B1-4 電気電子製品の適正なりサイクルのための情報共有に関する研究
(財) 地球環境戦略研究機関 ○十時 義明、林 志浩、堀田 康彦、森 秀行
- B1-5 使用済自動車のエレクトロニクス部品の高付加価値リユースに関する研究
北九州市立大学 ○劉 久増、松本 亨
- Poster2 B1-6 自治体ごみ処理における使用済み電気・電子製品の収集・処理実態と含有金属のフロー推計
(独) 国立環境研究所 ○小口 正弘、肴倉 宏史 (株) グリーンコープジャパン 藤崎 芳利 (独) 国立環境研究所 寺園 淳
- Poster2 B1-7 分相による廃 CRT ファンネルガラスからの鉛の分離
鳥取県衛生環境研究所 ○門木 秀幸、居蔵 岳志 愛媛大学 貴田 晶子 (独) 国立環境研究所 藤森 崇
- Poster1 B1-8 レーザー誘起プラズマ発光分析を用いた金属スクラップの迅速分析法の開発
東北大学 ○柏倉 俊介、我妻 和明

B2 プラスチックの資源化

【 11月4日(金) 第2会場 9:00-10:30 】

座長：加茂 徹 ((独) 産業技術総合研究所)

- B2-1 PO系複合廃材の分解技術によるマテリアルリサイクル技術の開発
(社) プラスチック処理促進協会 ○山脇 隆、尾崎 吉美 新第一塩ビ(株) 大和 多実男
- B2-2 人工芝リサイクルシステムに関する技術開発
高俊興業(株) ○大音 清、熊澤 正世 東京都環境科学研究所 茂木 敏
- B2-3 廃定置網漁網の適正処理とリサイクルの可能性への課題
富山県立大学 ○立田 真文 佐藤鉄工(株) 山田 宏志
- B2-4 塩化ナトリウム/エチレングリコール混合溶液からの塩化物イオンの回収
東北大学 ○庄司 知里、ギド グラウゼ、亀田 知人、吉岡 敏明
- B2-5 容器包装リサイクルプラスチックをフィルムに再生する技術開発(第2報)
広島県立総合技術研究所 ○塚脇 聡、谷口 勝得
- B2-6 発泡ポリスチレン(EPS)の再生処理時に於ける LCI データの構築
発泡スチロール協会 ○阿久澤 輝好、尾崎 滋(元) (株) 産業情報研究センター 林 廣和
- Poster2 B2-7 ごみの分別に関する意識と行動の乖離とその対応策について：松山大学におけるリサイクル弁当容器の事例
松山大学 ○溝渕 健一 福島大学 沼田 大輔
- Poster1 B2-8 廃プラスチック類中間処理施設から排出される各種有機化合物とその処理特性
(独) 国立環境研究所 ○元木 俊幸、川本 克也

B3 廃石膏／建設廃棄物リサイクル

【 11月3日(木) 第6会場 13:30-15:00 】

座長：黄 仁姫 (北海道大学)

- B3-1 分別解体工事現場から搬出された廃石膏ボードの組成
福岡大学 ○押方 利郎 (株) 三和興業 大山 勝寿 (株) 平組 平 典明
(株) 都市資源開発 田竈 英治 福岡大学 佐藤 研一
- B3-2 廃石膏を用いたリ回収技術
広島県立総合技術研究所 ○山本 康彦、原田 美穂子、日浦 盛夫
- B3-3 廃石膏による消化汚泥脱水液中のリン除去の検討
広島県立総合技術研究所 ○倉本 恵治、冠地 敏栄
- B3-4 廃石膏ボードを用いた農業用ため池堤体改修資材の力学的効果と環境安全性
(株) デイ・シイ ○小林 正樹 群馬大学 鶴岡 恵三 (株) 黒岩測量設計事務所 樋口 邦弘 (株) デイ・シイ 長橋 秀一
- B3-5 個別指定制度を活用した建設汚泥(シールド発生土)の再生活用事業について
(財) 関西環境管理技術センター ○武甕 孝雄、水田 和真 東洋建設(株) 高田 晴夫
阪神高速道路(株) 五反田 英雄 阪神高速技術(株) 富澤 康雄、山口 良弘
(財) 地域地盤環境研究所 水原 勝由 京都大学 勝見 武 香川高等専門学校 嘉門 雅史
- B3-6 建設分野へ利用される循環資材へ環境安全品質及びその検査方法を導入するための基本的考え方と“JISスラグ指針”への適用
(独) 国立環境研究所 ○肴倉 宏史、大迫 政浩 経済産業省 坂元 耕三、関野 武志
(株) エックス都市研究所 大塚 希美子、山口 直久
- Poster2 B3-7 建設混合廃棄物破砕選別残渣中の生物分解性有機炭素の分画と硫化水素生成能
北海道大学 ○東條 安匡、齋藤 隆生、松尾 孝之、黄 仁姫、松藤 敏彦
- Poster1 B3-8 再生半水石膏による地盤改良材の力学特性と環境安全性について
福岡大学 ○吉田 英史、佐藤 研一、藤川 拓朗
- Poster2 B3-9 硫化水素発生試験において生成する硫化物量と硫化水素ガス濃度の関係
福岡大学 ○武下 俊宏、姜 誠、樋口 壯太郎
- Poster1 B3-10 石炭灰混合材料の再利用が力学特性及び耐久性に与える影響
福岡大学 ○久富 優二、藤川 拓朗、佐藤 研一
- Poster2 B3-11 再生石膏の地盤工学的有効利用時における硫化水素ガス発生のパイアル培養法による評価
(独) 国立環境研究所 ○中川 美加子、遠藤 和人、肴倉 宏史、井上 雄三

一般セッション

B4 無機性廃棄物の資源化

【 11月5日(土) 第2会場 9:00-10:30 】

座長：樋口 壮太郎(福岡大学)

- B4-1 廃棄物処理プロセスより発生する副生塩を用いたエコ次亜塩素酸ソーダ生成に関する研究
住友電工ファインポリマー(株) ○牛越 健一 福岡大学 花嶋 正孝、樋口 壮太郎
(株) エイト日本技術開発 横山 睦正 (株) ササクラ 平野 悟 ダイソーエンジニアリング(株) 原 金房
- B4-2 マイクロ波照射を適用したキレート抽出による廃ITOガラスからのインジウム回収
金沢大学 ○江川 侑志、村瀬 龍太、澤井 光、牧 輝弥 大阪市立大学 水谷 聡 金沢大学 長谷川 浩
- B4-3 化成処理スラッジからのリン酸鉄リチウム合成とその電極特性
東北大学 ○佐々木 薫、亀田 知人、本間 格、吉岡 敏明
- B4-4 セメント工場から発生するKパウダーからのセレン回収方法の基礎検討
大阪大学 ○長谷川 愛、黒田 真史 太平洋セメント(株) 花田 晶子 大阪大学 惣田 訓
芝浦工業大学 山下 光雄 大阪大学 池 道彦
- B4-5 ガラスの相分離を利用した無機系廃棄物のケミカルリサイクル
岡山大学 ○難波 徳郎、崎田 真一、紅野 安彦
- B4-6 海砂代替材として検討される産業副産物の海水中における挙動
広島大学 ○矢野 ひとみ、中井 智司、奥田 哲司、西嶋 渉 広島県環境保健協会 杉本 憲司
中国四国防衛局 浅岡 賢英 放送大学 岡田 光正
- Poster1 B4-7 リン酸亜鉛化成処理工程排出スラッジの肥料化検討
地方(独) 岩手県工業技術センター ○佐々木 昭仁、佐藤 佳之、阿部 貴志、菅原 龍江
岩手大学 工藤 洋晃、河合 成直
- Poster2 B4-8 鋳物工場から排出されるダストのリサイクル技術の開発
広島県立総合技術研究所 ○橋本 寿之、花房 龍男、山本 康彦 広島工業大学 今岡 務
- Poster1 B4-9 副生塩を凍結防止剤として用いる場合の生物毒性試験について
福岡大学 ○樋口 壮太郎、武下 俊宏、加藤 隆也 韓国安養大学 李 南勲
(株) エコジェノミクス 草野 輝彦
- Poster2 B4-10 鑄造溶解副産物を用いた硫化水素発生抑制に関する研究
福岡大学 樋口 壮太郎、武下 俊宏、○姜 誠 (株) ケー・イー・シー 谷口 壮一郎
アイシン高丘(株) 服部 敏裕
- Poster2 B4-11 無機性廃棄物から合成した吸着材によるセシウムおよびストロンチウムイオン除去特性
兵庫県立大学 ○西岡 洋、平野 洋二、小舟 正文 フジライト工業(株) 田路 順一郎
- Poster1 B4-12 磁性強化シュベルトマナイトを用いたリン除去
名古屋大学 ○神本 祐樹、深津 諒、市野 良一
- Poster2 B4-13 亜臨界水処理を用いた金属洗浄廃液からの硝酸リサイクル技術の開発
リマテック(株) 田中 靖訓、○西原 充幸、河本 一誠、張 元月、新見 尚之、北崎 淳二

B5 食品廃棄物/生ごみの資源化

【 11月5日(土) 第3会場 9:00-10:15 】

座長：末原憲 一郎(三重大学)

- B5-1 生分解性プラスチック分解細菌の添加によるコンポスト中での生分解性プラスチック分解促進とその残存性
山梨大学 ○小寺 邦彦、金子 栄廣
- B5-2 寒天培地上およびコンポスト中でのPBSA分解細菌のPBSA分解能評価
山梨大学 ○落合 知、金子 栄廣
- B5-3 コンビニエンスストアの販売期限切れ商品の組成調査
三菱マテリアル(株) 矢島 達哉、松島 健文、○佐々木 雄二
日本フランチャイズチェーン協会 島村 真司
- B5-4 コンビニエンスストアの販売期限切れ商品のリサイクルシステム
三菱マテリアル(株) ○矢島 達哉、松島 健文、佐々木 雄二
日本フランチャイズチェーン協会 島村 真司
- B5-5 大学内の有機性廃棄物を活用した循環システム構築に関する研究
福岡大学 ○坂本 晋太郎、川鍋 良治、樋口 壮太郎 中部エコテック(株) 吉田 達宏、山下 六男
- Poster2 B5-6 アミロペクチン、炊飯米の水熱処理による糖化におけるギ酸および植物油の添加効果
日本大学 ○小林 宏至、江澤 舞、福岡 美樹、菅野 元行 ガラスリソーシング(株) 小松 明博
日本大学 角田 雄亮、平野 勝巳
- Poster1 B5-7 食品廃棄物発生ツリーの構築と食品廃棄物ゼロエミッションを目指すリサイクルシステムの考案
慶應義塾大学 ○佐藤 みずほ、中野 冠

Poster 1: 11月3日(木) E棟多目的室(1F) 17:00-18:15
Poster 2: 11月4日(金) E棟多目的室(1F) 13:15-14:30

一般セッション

B6 下水汚泥／畜産排せつ物の資源化

【 11月5日(土) 第2会場 10:45 - 12:15 】

座長：羽賀 清典 ((財) 畜産環境整備機構)

- B6-1 廃グリセリンと下水汚泥を同時に処理する新規嫌気発酵プロセスの構築
大阪府立大学 ○木村 知恵、倉橋 健介、武藤 明徳、徳本 勇人
- B6-2 廃アルカリ利用による下水汚泥焼却灰からの最適リン回収条件の探索
地方(独) 岩手県工業技術センター ○菅原 龍江、佐藤 佳之、佐々木 昭仁、阿部 貴志
メタウォーター(株) 守屋 由介
- B6-3 現位置コンポスト化における鶏舎中アンモニア臭の低減とリン回収
東京工業大学 ○中崎 清彦
- B6-4 豚ふん堆肥炭化物からのカリウム回収方法の検討
宮崎大学 ○土手 裕、関戸 知雄 日立造船(株) 上田 浩三、阪本 亮一
- B6-5 し尿処理施設における有機性廃棄物の利活用と新たな処理方策・適用技術について
(株) エイト日本技術開発 ○松本 智文 福岡大学 樋口 壮太郎
- B6-6 福島第一原子力発電所事故が家畜排せつ物の堆肥化に与える影響
福島大学 ○佐藤 理夫 福島大学・福島県安達郡大玉村 武田 栄輝 福島大学 佐藤 幹雄
- Poster2 B6-7 堆肥化初期過程における一酸化二窒素(N₂O)の排出特性 - 戻し堆肥の混合が N₂O 排出速度に及ぼす影響 -
帯広畜産大学 ○宮竹 史仁、鈴木 康浩、谷 昌幸、加藤 拓 北農研センター 前田 高輝
岩手大学 前田 武己 宇都宮大学 岩淵 和則

B7 有機性廃棄物の資源化

【 11月3日(木) 第3会場 9:30 - 10:45 】

座長：中崎 清彦 (東京工業大学)

- B7-1 酵母菌によるセルロース系バイオマスの分解・資化
東京工科大学 ○小林 聖人、田中 麻奈美、鈴木 義規、齋木 博、下村 美文
- B7-2 亜臨界水熱処理によるホタテ内蔵からの液肥回収に関する研究
北海道大学 ○黄 仁姫、阿部 夏季、松藤 敏彦、東條 安匡、松尾 孝之
- B7-3 高温高圧水反応による鶏羽毛液状飼料のラット給餌試験による評価
豊橋技術科学大学 ○伊藤 啓太 (株) 小樹屋 鈴木 邦彦 豊橋技術科学大学 熱田 洋一、大門 裕之
- B7-4 窒素炭化と二酸化炭素賦活竹炭の表面特性および調湿能力の検討
千葉大学 ○王 銳、天野 佳正、町田 基
- B7-5 竹の低温炭化と空気酸化による竹活性炭の調製
千葉大学 ○佐久間 美紀、天野 佳正、町田 基
- Poster2 B7-6 炭化汚泥中リンのアルカリ抽出条件について
四日市大学 ○高橋 正昭、武本 行正、村井 丈仁
- Poster1 B7-7 羊毛を主成分とする繊維廃棄物からのアミノ酸製造に関する検討
日本大学 ○角田 雄亮、佐藤 貴宗、菅野 元行、平野 勝巳
- Poster2 B7-8 ラマン分光法による多成分バイオアルコールの定量分析
日本大学 ○篠原 悠太、沼田 靖、田中 裕之
- Poster2 B7-9 茎葉分離、圧搾処理および燃焼機の違いがトマト茎葉ペレット燃焼性に及ぼす影響
明治大学 ○佐藤 佳奈美、池浦 博美 カゴメ(株) 宮下 達也、稲熊 隆博
明治大学 早田 保義
- Poster1 B7-10 ケント紙への無電解ニッケルめっきによる導電紙の電磁波シールド効果
東京都立産業技術研究センター ○竹村 昌太、上野 武司、島田 勝廣 東京農工大学 岡山 隆之
- Poster2 B7-11 廃棄物から作製した炭・活性炭の農業利用のための特性化
豊橋技術科学大学 ○兒島 勇、大北 博宣、水嶋 生智、角田 範義
- Poster2 B7-12 北海道の水田圃場におけるソフトセルロース収集体系の構築(第1報) - 稲わら収集作業時のエネルギー消費量 -
道総研中央農業試験場 ○木村 義彰、稲野 一郎、中村 隆一、五十嵐 正
(株) 大成建設 牧野 秀和 道総研中央農業試験場 日向 貴久、西村 直樹、竹中 秀行

Poster 1: 11月3日(木) E棟多目的室(1F) 17:00 - 18:15
Poster 2: 11月4日(金) E棟多目的室(1F) 13:15 - 14:30

一般セッション

B8 バイogas化 1

【 11月3日(木) 第3会場 11:00-12:15 】

座長: 高見澤 一裕 (岐阜大学)

- B8-1 佃煮製造工程から発生する煮汁廃液を対象とした嫌気性処理の検討
香川県環境保健研究センター ○宮本 早葵、稲井 宏樹 香川県 藤田 久雄
香川県環境保健研究センター 小島 俊男、串田 光祥
- B8-2 佃煮製造工程から発生する煮汁廃液の嫌気性 DHS リアクターによる処理特性評価
香川県環境保健研究センター ○稲井 宏樹、宮本 早葵 香川県 藤田 久雄
香川県環境保健研究センター 小島 俊男、串田 光祥
- B8-3 水素・メタン連続発酵プロセスによる紙混合模擬生ごみからのエネルギー回収
東邦ガス(株) ○永井 恒輝、水野 志穂、梅田 良人 東京ガス(株) 大坂 典子、松井 徹
三重大学 粟冠 真紀子、粟冠 和郎
- B8-4 安曇野地区乾式メタン発酵モデル事業
穂高広域施設組合 二條 久男 (財) 廃棄物研究財団 八木 美雄 (株) 東洋設計 ○西嶋 真幸
- B8-5 バイogas化技術実証研究プラントにおける設備劣化状況について
京都市 堀 寛明、三浦 貴弘 (財) 廃棄物研究財団 八木 美雄 (株) 東和テクノロジー ○友田 啓二郎
- Poster1 B8-6 バイogas発電施設の事業可能性の評価
東洋大学 ○川見 毅、村野 昭人

B9 バイogas化 2

【 11月3日(木) 第3会場 13:30-15:00 】

座長: 木田 建次 (熊本大学)

- B9-1 ソース製造廃棄物を用いたバイオガス発電によるエネルギー回収利用試験
ヤンマー(株) ○時 秀樹、畠田 裕久 オリバーソース(株) 道満 善弘、佐藤 学
- B9-2 メタン発酵-亜硝酸型脱窒素同時処理プロセスを用いた海産汚損生物のバイオガス化
創価大学 ○江澤 雄一、秋月 真一、青木 豊
マレーシア・ブトラ大学 長尾 宣夫 創価大学 丹羽 千明、戸田 龍樹
- B9-3 膨張軟化処理による草木質系バイオマスのメタン発酵の促進
金沢大学 ○大月 紳司、池本 良子 石川高等専門学校 高野 典礼 金沢大学 中出 貴大、中木原 江利
- B9-4 セルロース系バイオマスを対象とした生物変換プロセスにおける資源化ポテンシャルの評価
長岡技術科学大学 ○宮内 大樹、中村 明靖、齋藤 耕平 国際石油開発帝石(株) 若山 樹、今田 美郎
長岡技術科学大学 小笠原 渉、山口 隆司
- B9-5 バイogasプラントにおける副資材の投入体系に関する研究(第1報)
北海道立総合研究機構中央農業試験場 ○日向 貴久、木村 義彰、西村 直樹、竹中 秀行、石井 一英、古市 徹
- B9-6 生ごみ、紙の高温メタン発酵における超高温可溶性技術導入の定量的評価
大阪ガス(株) ○坪田 潤、藤井 岳、大隅 省二郎
- Poster2 B9-7 ディスポーザー排水処理装置を利用した小型で簡易な生ごみバイオガス化システムの開発
大阪ガス(株) ○藤井 岳、坪田 潤、中西 裕士 (株) ダイキアクシス 大森 大輔、門屋 尚紀

B10 バイogas燃料・タール改質

【 11月5日(土) 第3会場 10:45-12:00 】

座長: 金子 栄廣 (山梨大学)

- B10-1 排水成分からバイオ燃料前駆体を生産する Botryococcus braunii に対する高分子凝集剤及び鉄の凝集効果
金沢大学 ○高杉 惟、奥村 真子、楯 洋亮、牧 輝弥、瀧本 昭、長谷川 浩
- B10-2 廃食油を用いるバイオディーゼル燃料の室温製造法
崇城大工 ○池永 和敏、外室 乃樹、緒方 康人、先田 業幸
- B10-3 第二世代 BDF 製造を目的としたトラップグリースの収集-運搬-処理-輸送に係るコストと環境負荷量の試算
(独) 国立環境研究所 ○倉持 秀敏、藤井 実 (株) エイト日本技術開発 島宗 敬太郎、王 媚
(独) 国立環境研究所 大迫 政浩
- B10-4 木質系バイオマスを原料とするバイオエタノール生産の至適条件検討
岐阜大学 ○佐藤 隼人、中村 浩平、高見澤 一裕
- B10-5 バイogasマスタールのマイエナイト担持 Ni 触媒による水蒸気改質反応
名古屋大学 ○鈴木 憲司 中国科学院過程工程研究所 李 春山
- Poster2 B10-6 中級グレード廃食油を用いた燃料液滴の燃焼特性に関する研究
松江工業高等専門学校 ○本間 寛己、三島 文也、門脇 健
- Poster1 B10-7 トラップグリースのアップグレード処理後の油分の不純物成分の分析と熱物性測定
(独) 国立環境研究所 倉持 秀敏 兵庫県立大学 前田 光治 (独) 国立環境研究所 ○大迫 政浩

一般セッション

C1 焼却・排ガス処理

【 11月5日(土) 第1会場 9:00-10:30 】

座長：増田 孝弘 ((株) タクマ)

- C1-1 流動床式焼却炉の基幹的設備改良
荏原環境プラント (株) ○吉良 誠、池田 太
- C1-2 多品目対応向流型キルン式焼却炉の概要
(株) アクトリー ○西尾 修、吉光 由美子、増井 芽、田中 努
- C1-3 低炭素・循環型社会に向けた廃棄物焼却施設評価手法の開発(2)
埼玉県環境科学国際センター ○鈴木 和将 JFE テクノリサーチ (株) 大島 誠 (独) 国立環境研究所 川本 克也
- C1-4 苛性ソーダ吹込み法の適用による有害ガス除去プロセスの開発
JFE エンジニアリング (株) 平山 敦、○長尾 厚志、鮎川 将、木村 陽介、服部 公紀、薄木 徹也
- C1-5 無触媒脱硝の高性能化
日立造船 (株) ○古林 通孝、白石 裕司、氏原 龍秀、白谷 彰浩
- C1-6 無触媒脱硝技術高度化への取り組み
JFE エンジニアリング (株) ○木ノ下 誠二、中山 剛、傳田 知広、中川 知紀、木村 陽介、岩崎 敏彦

C2 ガス化溶融・ごみ発電

【 11月5日(土) 第1会場 10:45-12:15 】

座長：山形 成生 ((株) 神鋼環境ソリューション)

- C2-1 高温ガス化直接溶融炉におけるバイオコークス使用による CO₂ 排出量削減
JFE エンジニアリング (株) ○内山 武、中山 剛、奥山 契一、秋山 肇 日本砥研 (株) 小田 昭浩、星 靖
大阪府森林組合 田中 一嘉 (株) ナニワ炉機研究所 村田 博敏 近畿大学 井田 民男
- C2-2 シャフト炉式ガス化溶融炉における送風予熱技術の開発
新日鉄エンジニアリング (株) ○吉本 雄一、加藤 也寸彦、石田 吉浩
日鉄環境プラントソリューションズ (株) 星沢 康介 秋田市 竹内 眞
- C2-3 ごみ発熱量の増加によるごみ発電の効率向上
東京電機大学 ○菅原 秀雄、加藤 政一
- C2-4 セラミックス低温熱交換器の開発
コバレントマテリアル (株) ○安藤 正博 東京ガス (株) 西尾 晋
- C2-5 数値シミュレーションによるストーカ炉内燃焼挙動解析
JFE エンジニアリング (株) ○傳田 知広、中山 剛、内山 武、岩崎 敏彦 東北大学 小林 秀昭
- C2-6 廃プラスチック類混合焼却によるエネルギーと環境保全特性への影響評価
横浜国立大学 ○井ノ久保 淳一 (独) 国立環境研究所 川本 克也
- Poster2 C2-7 一般廃棄物焼却施設の空冷復水器へのミスト噴霧による発電量の向上に関する検討
大阪市立環境科学研究所 ○高倉 晃人 大阪市立大学 Farnham Craig、山口 浩史
大阪市立環境科学研究所 榎元 慶子 大阪市立大学 中尾 正喜
- Poster2 C2-8 脱塩素化 PVC 炭素残渣の炭化過程で発生するタールから作製した活性炭
豊橋技術科学大学 ○片岡 政人、大北 博宣、水嶋 生智、角田 範義
- Poster1 C2-9 密閉型ガス化炉によるヒノキ廃材の間接ガス化に関する研究 一生成ガス体積に及ぼす水分率の影響一
松江工業高等専門学校 本間 寛己、○岡 雅浩、古田 暁生

C3 焼却残渣・溶融スラグ

【 11月3日(木) 第2会場 11:00-12:15 】

座長：高岡 昌輝 (京都大学)

- C3-1 飛灰の鉛安定化性能を有するリン酸アルミニウムの鉛安定化機構
菱光石灰工業 (株)・宮崎大学 ○貝掛 勝也 菱光石灰工業 (株) 角森 道人 宮崎大学 関戸 知雄、土手 裕
- C3-2 飛灰中重金属の溶出抑制剤の使用状況に関する調査研究
日立造船 (株) ○原田 浩希、森脇 栄輔、濱 利雄 京都大学 高岡 昌輝
- C3-3 反復型溶出試験による都市ごみ溶融スラグからの毒性溶出挙動評価
山梨大学 ○金子 栄廣、小野田 綾香
- C3-4 スラグ中の微量成分が溶融処理性、スラグ安全性に及ぼす影響
(株) クボタ ○釜田 陽介、田島 博、佐藤 淳、上林 史朗、阿部 清一
- C3-5 廃棄物熱処理実験プラントを用いた災害廃木材燃焼時の放射性セシウムの熱分配挙動および溶出特性
(独) 国立環境研究所 ○藤森 崇、土井 妙子、滝上 英孝、大迫 政浩
- Poster2 C3-6 廃棄物溶融スラグの水防汚剤としての検討
都城工業高等専門学校 ○中村 竜太、貴嶋 紗久、清山 史朗 室蘭工業大学 徳楽 清孝
- Poster2 C3-7 溶融スラグと環境土壌との各種元素溶出挙動の比較
(株) クボタ 釜田 陽介 クボタ環境サービス (株) ○浜上 博功
(株) クボタ 寶正 史樹、上林 史朗、阿部 清一
- Poster1 C3-8 溶融スラグの環境安全性に関する実験的研究
(株) 大林組 ○田島 孝敏、甚野 智子
- Poster2 C3-9 可燃物混合による焼却残さの自然溶融
(株) クボタ ○寶正 史樹、黒石 智、佐藤 淳、上林 史朗、阿部 清一
- Poster2 C3-10 塩ビの重金属揮散効果と電気集塵機の性能評価
(株) クボタ ○加納 弘也、神谷 徹、佐藤 淳、上林 史朗、阿部 清一
- Poster2 C3-11 放射性有機廃液焼却時に生成した付着固形物の X 線回折分析
(株) リガク X 線研究所 ○大淵 敦司 明治大学 小池 裕也
東京大学 小坂 尚樹、野川 憲夫 明治大学 中村 利廣

一般セッション

D1 埋立地工法/しゃ水

【 11月3日(木) 第5会場 13:30-15:00 】

座長：石垣 智基 (独) 国立環境研究所

- D1-1 最終処分場整備に関する斜面の安定性評価モデルの構築
神奈川県 ○遠藤 清亮 神奈川県 田口 雅文
- D1-2 一般廃棄物最終処分場における水平締固め試験について
(株)本間組 ○川浦 栄太郎、奥村 雄二 鹿島建設(株) 若林 秀樹、伴野 茂
- D1-3 ベントナイト混合土層変形前後の遮水性能比較
NPO・LSCS 研 ○宇佐見 貞彦、工藤 賢悟、今泉 繁良
- D1-4 廃棄物最終処分場等における高機能土構造物構築方法の実用化研究(その3)
旭化成ジオテック(株) ○安藤 彰宣 (有)泉商会 松尾 俊和 福岡大学 樋口 壮太郎
- D1-5 複合表層構造を用いた埋立地内への降雨浸透抑制手法について
旭化成ジオテック(株) 安藤 彰宣、○石井 大悟 北九州市立大学 伊藤 洋
- D1-6 被覆型処分場の被覆構造に関する研究
福岡大学・NPO 法人 環境技術支援ネットワーク ○加藤 隆也
NPO 法人 環境技術支援ネットワーク 石橋 稔、小矢 健悟
- Poster2 D1-7 環境負荷低減型最終処分システムの開発に関する研究
福岡大学 ○平角 貴明、劉 梟銘、トウ 暁楓、為田 一雄、加藤 隆也、樋口 壮太郎

D2 海面埋立 1

【 11月3日(木) 第5会場 9:30-10:45 】

座長：吉田 英樹 (室蘭工業大学)

- D2-1 水砕スラグを混合した軟弱土の処分場覆土としての活用に関する研究
大阪湾広域臨海環境整備センター 岸本 至泰 諏訪技術士事務所 諏訪 靖二
中央開発(株) ○東原 純、前田 直也、遠藤 彰博
- D2-2 海面廃棄物処分場の長期コスト低減技術の分類と考察
国土交通省国土技術政策総合研究所 根木 貴史、渡邊 祐二
(財)みなと総合研究財団 小田 勝也、○築地 健太郎
- D2-3 簡易収支モデルを用いた海面廃棄物処分場の財政収支に関する一検討
国土交通省国土技術政策総合研究所 ○根木 貴史、渡邊 祐二
(財)みなと総合研究財団 小田 勝也、築地 健太郎
- D2-4 海面廃棄物処分場の埋立完了後に着目した受益と負担に関する整理と考察
国土交通省国土技術政策総合研究所 根木 貴史、渡邊 祐二
(財)みなと総合研究財団 ○小田 勝也、築地 健太郎
- D2-5 海面最終処分場の閉鎖・廃止の現状と課題
(財)日本環境衛生センター ○大野 博之、羽染 久、永岡 修一、宮原 哲也、八村 智明
- Poster1 D2-6 廃棄物海面埋立処分場内のガス挙動解析と酸素供給量の評価
(独)国立環境研究所 ○石森 洋行、遠藤 和人、石垣 智基、山田 正人

D3 海面埋立 2

【 11月3日(木) 第5会場 11:00-12:15 】

座長：中山 裕文 (九州大学)

- D3-1 海面埋立地における集水管の合理的設計に関する基礎的研究
九州大学 ○松尾 亮佑、島岡 隆行 中央開発(株) 東原 純
- D3-2 廃棄物の海面埋立を想定し投入された模擬廃棄物が底面遮水層に及ぼす影響
(財)日本環境衛生センター ○永岡 修一、八村 智明、大野 博之、大渡 俊典、宮原 哲也、松本 謙二
(財)愛知臨海環境整備センター 飛田 靖之、富田 洋平
- D3-3 不同沈下をうける海面処分場遮水シートの最大ひずみ簡易計算法
東華大学 季 巖榮 宇都宮大学 ○今泉 繁良
- D3-4 埋立地底部地盤の沈下を模擬した遮水シートの変形挙動実験と評価モデル(その2)
八千代エンジニアリング(株) ○宇佐見 貞彦 (株)エイト日本技術開発 額額 卓也
三ツ星ベルト(株) 加納 光 大日本プラスチック(株) 松山 眞三
日本国土開発(株) 工藤 賢悟 宇都宮大学 今泉 繁良
- D3-5 海面廃棄物処分場跡地の安定化状況調査(第2報)
室蘭工業大学 ○吉田 英樹
- Poster2 D3-6 海面埋立を想定した砂の沈降挙動及び堆積特性
福岡大学 ○杉山 詠一、佐藤 研一、藤川 拓朗
(財)日本環境衛生センター 永岡 修一、八村 智明 愛知臨海環境整備センター 飛田 靖之、富田 洋平

Poster 1: 11月3日(木) E棟多目的室(1F) 17:00-18:15
Poster 2: 11月4日(金) E棟多目的室(1F) 13:15-14:30

一般セッション

D4 埋立地ガス／浸出水

【 11月5日（土） 第5会場 9:00-10:15 】

座長：立藤 綾子（福岡大学）

- D4-1 模擬カラム実験による家畜埋却処分地からの初期浸出液性状に関する研究
宮崎大学 ○関戸 知雄、土手 裕、森田 哲夫、稲垣 仁根、鈴木 祥広
- D4-2 2槽型アンモニア脱窒法を用いた浸出水窒素除去の現地実験
水ing（株） ○葛 甬生、中村 寿実、郷野 慎二
- D4-3 カルシウムに着目した凝集沈殿法によるホウ素除去の基礎的検討 一産業廃棄物を用いた水資源の健全化方法に向けて一
仙台環境開発（株） ○佐藤 真哉、高谷 敏彦、大内 東
- D4-4 覆土材による最終処分場からの硫化水素放出抑制
福岡大学 ○正本 博士、川上 徹也、重松 幹二、松藤 康司、柳瀬 龍二
- D4-5 廃棄物埋立地からの温室効果ガス算出に用いられるガス化率の地域性に関する実験的検討
龍谷大学 ○東川 拓司、占部 武生 （独）国立環境研究所 石垣 智基
- Poster1 D4-6 浸透水中の有機物にける生物利用特性についての検討
福岡県保健環境研究所 ○志水 信弘、鳥羽 峰樹、池浦 太荘、桜木 建治、永瀬 誠、大久保 彰人
- Poster2 D4-7 廃棄物埋立地における亜酸化窒素ガス調査
埼玉県環境科学国際センター ○長森 正尚、渡辺 洋一 （独）国立環境研究所 山田 正人、石垣 智基
- Poster1 D4-8 循環樹を用いた浸出水の簡易浄化法に関する研究
福岡大学 ○小林 亮、柳瀬 龍二、松藤 康司、立藤 綾子
福岡市 小山田 謙二、田代 武夫、中富 重雄、村上 哲哉
- Poster2 D4-9 微生物機能分布による廃棄物処分場の安定化進行度評価
（独）国立環境研究所 ○石垣 智基、山田 正人 龍谷大学 濱田 真樹 大阪大学 池 道彦、井上 大介
福岡大学 澤村 啓美 大阪湾広域臨海環境整備センター 樋口 進
（財）廃棄物研究財団 八木 美雄、東海林 俊吉 福岡県環境保全公社 花嶋 正孝

D5 埋立地早期安定化・跡地利用

【 11月4日（金） 第1会場 9:00-10:30 】

座長：東條 安匡（北海道大学）

- D5-1 霧状酸化剤を用いた埋立地の早期安定化に関する研究
福岡大学 ○為田 一雄、内田 正信、武下 俊宏、樋口 壮太郎
三重県保険環境研究所 西山 亨、高士 昇吾、寺本 佳宏、川合 啓之、宮村 典仁
三重県庁 山川 雅弘 三重県保険環境研究所 吉岡 理
- D5-2 廃棄物埋立槽内の空気流入に及ぼす浸出水集排水管の影響
福岡大学 ○尾形 裕、鈴木 慎也、平田 修、立藤 綾子、松藤 康司
- D5-3 有機性廃棄物埋立地内の汚濁物質挙動の送気による影響解析
九州大学 ○喜多村 広輝、島岡 隆行、高橋 史武、柴 暁利、郝 永霞
- D5-4 安定化促進工に伴う最終処分場の微生物機能分布の変化
龍谷大学 ○濱田 真樹、占部 武生 （独）国立環境研究所 石垣 智基 福岡大学 澤村 啓美
大阪大学 池 道彦、清 和成、井上 大介
- D5-5 物質収支を用いた埋立構造の違いによる廃棄物のガス化量及び溶出量に関する検討
福岡大学 ○松永 仁史、平田 修、立藤 綾子、松藤 康司
- D5-6 遺跡の観点からみた処分場の跡地利用
徳島大学 ○遠部 慎
- Poster2 D5-7 焼酎廃液及びBDF廃液を利用した最終処分場早期廃止技術の実験的検討
大成建設（株） ○海老原 正明 （株）松尾設計 清永 定光
福岡大学 武下 俊宏、樋口 壮太郎、押方 利郎 福岡県環境保全公社 花嶋 正孝
- Poster1 D5-8 熱帯地域における準好気性埋立の機能向上に関する研究
（独）国立環境研究所 ○山田 正人、石垣 智基、遠藤 和人
カセサート大学 チェムチャイスリ チャート、スタッシル ノッパリット
キングモングット工科大学 ワンヤオ コムシン
- Poster2 D5-9 複数の物理探査による廃棄物最終処分場のモニタリング方法の検討
埼玉県環境科学国際センター ○磯部 友護 日鉄鉱業（株） 高橋 武春、松隈 勇太
- Poster2 D5-10 最終処分場廃棄物埋立層中のレアメタル類の資源的評価
早稲田大学 ○片岡 咲恵、奥野 愛実 福井県衛生環境研究センター 田中 宏和
（独）国立環境研究所 石垣 智基 早稲田大学 香村 一夫
- Poster1 D5-11 クローズドシステム処分場における廃棄物安定化指標の調査研究(その6)
NPO 最終処分場技術システム研究協会 ○若林 秀樹、庄司 茂幸、石井 一英、花嶋 正孝、古市 徹
- Poster2 D5-12 環境配慮技術を取り入れた最終処分場の跡地利用に関する研究
（株）大林組 ○柴田 健司、小竹 茂夫、杉本英夫 大林道路（株） 堀 浩明
- Poster1 D5-13 産業廃棄物処分場跡地における有用植物栽培試験
福井県衛生環境研究センター 田中 宏和、○山崎 慶子、青木 保憲

一般セッション

D6 埋立地内有害物質等の挙動

【 11月5日(土) 第5会場 10:45 - 11:45 】

座長：宮脇 健太郎 (明星大学)

- D6-1 最終処分場における塩類溶出制御システムに関する研究
福岡大学 ○矢羽田 聡彦、加藤 隆也、為田 一雄、樋口 壯太郎
- D6-2 最終処分場廃棄物埋立層における重金属の賦存形態とその時系列的变化
早稲田大学 ○奥野 愛実、片岡 咲恵 福井県衛生環境研究センター 田中 宏和
早稲田大学 香村 一夫
- D6-3 電気探査を利用した廃棄物埋立層内メタル濃集ゾーンの把握
早稲田大学 ○桜間 俊典、樋口 健人、中田 純平、小山 研也、若林 恭子
福井県衛生環境研究センター 田中 宏和 早稲田大学 香村 一夫
- D6-4 キレート処理飛灰が埋立管理に与える影響
福岡大学 ○内田 正信、為田 一雄、樋口 壯太郎
西日本環境リサーチ(株) 西尾 相馬、岡田 章吾、柚田 恭志 北九州市立大学 楠田 哲也
- Poster2 D6-5 管理型産業廃棄物処分場における塩類および重金属類の溶出挙動
福井県衛生環境研究センター ○田中 宏和、山崎 慶子、青木 保憲
(独) 国立環境研究所 山田 正人、遠藤 和人、石垣 智基 福井資源化工(株) 藤井 直幸、大家 清紀
- Poster1 D6-6 高 pH 条件下での不燃破砕残渣の海水溶媒溶出試験
明星大学 ○安藤 朋、宮脇 健太郎
- Poster2 D6-7 紫外線照射による一般廃棄物焼却残渣中の鉛不溶化効果に寄与する触媒と照射エネルギーの影響
福岡大学 ○隈本 祥多 福岡大学 佐藤 研一、藤川 拓朗
(独) 国立環境研究所 肴倉 宏史、藤森 崇

D7 不法投棄・汚染土壌

【 11月3日(木) 第1会場 9:30 - 10:45 】

座長：土手 裕 (宮崎大学)

- D7-1 国内の不法投棄等廃棄物の一面せん断試験によるせん断強度特性
九州大学 ○大嶺 聖 (財) 産業廃棄物処理事業振興財団 山脇 敦 埼玉県環境科学国際センター 川崎 幹生
NPO 最終処分場技術システム研究協会 土居 洋一、宮本 慎太郎、安福 規之
- D7-2 小規模不法投棄残存事案における支障状況等調査の事例に関する考察
(株) 建設技術研究所 伊藤 明、○岡田 敬志、中島 教陽、改田 行司
- D7-3 低温オンサイト加熱処理による浄化効果に関する基礎的研究
日本国土開発(株) 小幡 博志、赤神 元英 三重県 西田 憲一
三重県保健環境研究所 巽 正志 北海道大学 古市 徹、石井 一英 日本国土開発(株) ○坂本 篤
- D7-4 豊島における産業廃棄物不法投棄現場のダイオキシン類に関する検討
早稲田大学 永田 勝也、小野田 弘士、切川 卓也、○築山 亮、下村 健太
- D7-5 不法投棄現場における VOC 汚染物の現地無害化処理について
三重県 西田 憲一、沢西 芳円 日本国土開発(株) ○横田 茂幸、井上 陽介
- Poster1 D7-6 自然由来の材料を汚染水浄化に利用する試み(1) - 北海道南西部に分布する火山灰土壌に対する基礎的検討 -
早稲田大学 ○平岩 良太、吉良 彰悟、西田 洋平、香村 一夫
- Poster2 D7-7 関東ロームを用いた汚染水浄化資材の有効性に関する検討
早稲田大学 ○西田 洋平、香村 一夫 清水建設(株) 馬場 直紀

Poster 1:	11月3日(木)	E棟多目的室(1F)	17:00 - 18:15
Poster 2:	11月4日(金)	E棟多目的室(1F)	13:15 - 14:30

一般セッション

E1 廃石綿

【 11月4日(金) 第4会場 9:00-10:30 】

座長：山本 貴士 ((独) 国立環境研究所)

- E1-1 石綿含有成形板の破砕試験による解体時飛散係数の推定
京都大学 ○平井 康宏 環境省 水嶋 周一 京都大学 酒井 伸一
- E1-2 産業廃棄物処理施設における石綿飛散状況の把握のための調査
(独) 国立環境研究所 ○山本 貴士 (財) 日本環境衛生センター 小田原 伸幸
(独) 国立環境研究所・愛媛大学 貴田 晶子 (財) 日本環境衛生センター 藤吉 秀昭
- E1-3 廃石膏ボード中のアスベストの簡易検査法の開発
広島県立総合技術研究所 ○原田 美穂子、日浦 盛夫、大原 俊彦、砂田 和博、山本 康彦
- E1-4 アスベスト含有保温材の効率的溶融無害化のための研究 - 電気炉による溶融実験 -
飛島建設(株) ○内田 季延、関 眞一
- E1-5 集光加熱技術を用いたオンサイト式アスベスト溶融処理システムに関するエネルギー効率評価
(独) 産業技術総合研究所 ○梅山 規男、池田 伸一 大成建設(株) 万字 角英、森 直樹
- E1-6 XRD および XANES 法によるアスベスト常温分解生成物の同定と分解機構の研究
佐賀大学 ○田端 正明 (株) 環境アネトス 庄野 章文、納富 啓一

E2 有害廃棄物 1

【 11月5日(土) 第6会場 9:00-10:30 】

座長：渡辺 洋一 (埼玉県環境科学国際センター)

- E2-1 超高压水中衝撃波を用いた大腸菌群の殺菌に関する研究
千葉工業大学 ○山口 沙耶香 東邦大学 鈴木 実
- E2-2 ヘキサブロモシクロドデカン(HBCDs)の異性体別曝露モデルに関する研究
京都大学 ○江口 剛史、平井 康宏、酒井 伸一
- E2-3 北海道における CCA 処理廃木材の分別状況
北海道立総合研究機構環境科学研究センター ○阿賀 裕英 (財) 日本産業廃棄物処理振興センター 谷川 昇
北海道大学 石井 一英、古市 徹
- E2-4 クロム系耐火物使用により生成する6価クロム化合物の溶出性
龍谷大学 ○水原 詞治、占部 武生 岡山セラミックス技術振興財団 山口 明良、前田 朋之
- E2-5 長期保管を想定した金属水銀の安定化手法の検討
京都大学・新日鉄エンジニアリング(株) ○福田 尚倫 京都大学 高岡 昌輝
- E2-6 畑地の除草による放射線の除去
福島大学 ○佐藤 幹雄、佐藤 理夫、尾形 宏樹
- Poster2 E2-7 溶融炉の熱化学分離機能を活用したセシウム、リンに関する実験的検討
(株) クボタ 釜田 陽介、○吉岡 洋仁、佐藤 淳、上林 史朗、阿部 清一
- Poster2 E2-8 非鉄金属製錬からの水銀回収量の将来予測に関する研究
京都大学 ○吉元 直子、高岡 昌輝、大下 和徹、水野 忠雄
- Poster1 E2-9 産業廃棄物焼却施設における PFOS 含有泡消火薬剤分解処理の最適条件の検討
(株) クレハ環境 小林 正喜、大岡 幸裕、○白土 典広
- Poster2 E2-10 塩素系樹脂の焼却による多環芳香族炭化水素類とその塩素化誘導体の生成特性
静岡県立大学 ○三宅 祐一、唐 亮 埼玉県環境科学国際センター 堀井 勇一 静岡県立大学 雨谷 敬史
- Poster2 E2-11 二酸化硫黄と銅化合物の相互作用が焼却飛灰中芳香族塩素化合物の生成に与える影響
京都大学 ○西本 芳洋 (独) 国立環境研究所 藤森 崇 京都大学 高岡 昌輝、大下 和徹、水野 忠雄

E3 有害廃棄物 2

【 11月5日(土) 第6会場 10:45-12:15 】

座長：豊口 敏之 (環境管理センター)

- E3-1 都市ごみの焼却飛灰・溶融飛灰の薬剤処理に伴う二硫化炭素の発生特性
大阪市立大学 ○辻 貴行
- E3-2 「産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法(環境庁告示13号)」で用いるフィルターの種類が測定結果に及ぼす影響
沖縄県衛生環境研究所 ○井上 豪、玉城 不二美、渡口 輝、塩川 敦司、天願 博紀、仲宗根 一哉
- E3-3 MIP-CPT 法を用いた深度別の VOCs 現地迅速成分分析法の開発
(株) 環境総合テクノス ○青木 健二、杉山 勝彦、片山 辰雄 三重県 西田 憲一
三重県保健環境研究所 巽 正志 北海道大学 古市 徹、石井 一英
- E3-4 レアメタルのリサイクルとバイオインスパイアード触媒によるヒ素の無毒化
日本板硝子(株) ○中村 浩一郎
- E3-5 重金属曝露したメダカの肝臓における遺伝子発現解析
(株) エコジェノミクス ○中村 浩 電源開発(株) 佐藤 道生 (株) エコジェノミクス 内田 雅也、大淵 貴実子、草野 輝彦
- E3-6 フィリピンの e-waste リサイクル労働者における微量元素曝露の実態
愛媛大学 ○阿草 哲郎、江口 哲史、高橋 真、岩田 久人、田辺 信介
(独) 国立環境研究所 滝上 英孝、藤森 崇、吉田 綾、寺園 淳 金沢大学 戸次 加奈江
University of the Philippines Diliman Florencio C. BALLESTEROS Jr.
- Poster1 E3-7 重金属固定化作用を持つ3種の薬剤(Na₂S, Sn₂, DDTc)の比較
大阪工業大学 ○水口 弘務、渡辺 信久
- Poster2 E3-8 石綿含有成形板の目視判定について
埼玉県環境科学国際センター ○川崎 幹生、磯部 友護、鈴木 和将 日本工業大学 小野 雄策
埼玉県環境科学国際センター 渡辺 洋一
- Poster1 E3-9 都市ごみ焼却飛灰中の水銀の pH 依存性溶出挙動
大阪市立大学 ○水谷 聡 大阪市立大学・関西環境管理技術センター 角谷 和志
京都大学 高岡 昌輝 大阪市立大学 貴上 佳則

International Hybrid Session

FA 3R / Waste management

【 November 3, Thursday 15:15 - 16:45 Short oral presentation, 17:00 - 18:15 Poster presentation 】

- | | | |
|-----------|--------------|---|
| | FA-1 | Cost analysis of municipal solid waste in several Indonesian major cities
○Irwan Ridwan Rahim, Hirofumi Nakayama, Takayuki Shimaoka (Kyushu University) |
| KS | FA-2 | Ultimate anaerobic biodegradability of animal manure and forage crops
Ji-Hyun Jeong, ○Ho Kang (Chungnam National University)
Seung-Heon Lee (Korea Rural Research Institute) |
| KS | FA-3 | A study on reasonable treatment way of sediment sludge in Young San Lake
○JeeJune Song, JiYong Kim, Young Byum Jo (Mokpo National University)
Hee Gune Kim, Hyun Sik Park (Jeollanam-Do Government)
Mun Il Jung (Nam Bu Ennvi. Co. Ltd.) |
| | FA-4 | KitaQ system composting and its applicability in Asia: Lessons learned and future potential
○D.G.J. Premakumara, Hirohata Kazuyoshi (Institute for Global Environmental Strategies (IGES)
Eriko Tamura (JICA) |
| | FA-5 | Alternative solid waste management for Putrajaya Malaysia towards low-carbon society
○Siti Norbaizura Md. Rejab, Tomohito Hamada, Takeshi Fujiwara (Okayama University) |
| | FA-6 | Survey on household and commercial waste composition and strategy of household waste collection by state authority in Republic of Palau
○Eri Ito, Takeshi Fujiwara (Okayama University)
Mengkur W. Rechelulk (Palau National Government) |
| KS | FA-7 | Estimation of recyclable wastes discharge system in C city
○Joo-Yong Lee, Sung-Keun Bae (Changwon National University) |
| | FA-8 | Household waste generation and relevant factors in Hue city, Vietnam
○Do Thi Thu Trang, Yasuhiro Matsui, Nguyen Phuc Thanh, Ngo Thi My Yen (Okayama University) |
| | FA-9 | A preliminary survey on residential solid waste generation and door-to-door collection by using GIS/GPS: a case study in Can Tho city, Vietnam
○Nguyen Phuc Thanh, Yasuhiro Matsui (Okayama University)
Nguyen Thi Lanh (Can Tho University) |
| | FA-10 | Calculation of food loss by food consumption behavior in food supply chain of Japan
○Munsol Ju (National Institute for Environmental Studies, Tokyo Institute of Technology)
Masahiro Osako (National Institute for Environmental Studies) |

FB Recycle

【 November 3, Thursday 15:15 - 16:45 Short oral presentation, 17:00 - 18:15 Poster presentation 】

- | | | |
|-----------|-------------|--|
| KS | FB-1 | Mechanical property of the concrete and quality performance of the dredged sand produced by washing and sorting system
○SangSoo Lee, Ha Young Song, YunSeong Lee, KangPil Lee (Hanbat National University)
TaekMoo Jang (Korea SanYang Environment Co., Ltd.) |
| KS | FB-2 | A study on energy characteristics on the carbonization residue derived from the mixture of woody waste and swine manure
○Seung-Whee Rhee, Hyo-Hyun Choi, Hun-Su Park (Kyonggi University) |
| KS | FB-3 | Energy conversion from livestock wastewater by the anaerobic-autothermal aerobic process
○Sang-min Han, Jin-seok Lee, Tae-Kyu Eom (Kyung Sung University) |
| KS | FB-4 | Effect of SiO₂/Na₂O mole fraction on physical property of geopolymer foam block made from mine residue
○A-Ram Oh, Woo-Keun Lee (Kangwon National University) |
| | FB-5 | Scenario analysis of composting application on municipal solid waste management in Phnom Penh
○Bunrith Seng, Hidehiro Kaneko (University of Yamanashi) |
| KS | FB-6 | Using the waste wood CMC manufacturing techniques for improving the pretreatment of enzyme hydrolysis
○Beomsoo Kim, Ishan Gulati, Sangwon Park, Hoyong Jo, Jin-Won Park (Yonsei University) |
| KS | FB-7 | A study on the mechanical properties on cement type and blast furnace slag fineness of mortar
○GyuYong Kim, KyoungSu Shin (Korea Chungnam National University) |

Short oral presentation: November 3, Thursday 15:15 - 16:45 B111 1F Building B Poster presentation: November 3, Thursday 17:00 - 18:15 1F Building E KS: Korea Society of Waste Management
--

International Hybrid Session

FC Thermal treatment

【 November 3, Thursday 15:15 - 16:45 Short oral presentation, 17:00 - 18:15 Poster presentation 】

- KS FC-1 The study on the oil separation of fry-dried coal by a centrifugal machine**
○Jongseong Chae, Jaeho Lim, Jinhee Yun, Taein Ohm (Hanbat National University)
Seunghyun Moon (KIER)
- KS FC-2 Thermal characteristics of Kideco coal ash & slag in the 3t/d entrained coal gasifier**
○Bongjin Jung, Nayeon Lee, Wonjun Nam, Kyunghoon Kim, Chan Lee (The University of Suwon)
Yongseung Yoon (Plant Engineering Center, Institute for Advanced Engineering)
- KS FC-3 Characteristics of solid materials sampled in the bench scale entrained coal gasifier**
○Nayeon Lee, Bongjin Jung, Wonjun Nam, Kyunghoon Kim, Chan Lee (The University of Suwon)
Yongseung Yoon (Plant Engineering Center, Institute for Advanced Engineering)
- KS FC-4 Hydrogen chloride (HCl) and sulfur oxides (SOx) generation characteristics from refuse derived fuel (RDF) incineration**
○Weon Joon Lee, Choi Yong Hwan (Chonnam National University)
Oh Sub Yoon (Hanbat National University)
- FC-5 Cedar wood gasification for chemicals/energy generation - A parametric study**
○Katsuya Kawamoto, Salah Aljbour (National Institute for Environmental Studies)

FD Landfill

【 November 3, Thursday 15:15 - 16:45 Short oral presentation, 17:00 - 18:15 Poster presentation 】

- FD-1 Investigation of perfluorinated compounds in final disposal site**
○Mitsuyasu Takata, Nobuhisa Watanabe (Osaka Institute of Technology)
Shusuke Takemine, Chisato Matsumura (Hyogo Prefectural Institute of Environmental Sciences)
Takeshi Nakano (Osaka University)
- FD-2 A comparison of leaching behaviours of construction and demolition waste residues from the intermediate-scale lysimeters with different length/width ratios**
○Hee-Jong Kim, Kazuto Endo, Masato Yamada (National Institute for Environmental Studies)
Qaing Tang (Kyoto University)

FE Hazardous waste

【 November 3, Thursday 15:15 - 16:45 Short oral presentation, 17:00 - 18:15 Poster presentation 】

- FE-1 Removal of PCDD/Fs from sediment by indirect heating treatment: Use of charcoal as a thermal source and adsorbent**
○Long Zhao, Kanae Iwasaki, Akihiko Terada, Masaaki Hosomi (Tokyo University of Agriculture and Technology)
- FE-2 Degradation of polychlorinated naphthalene (PCN) by mechanochemical treatment**
○Sho Aono, Masaaki Hosomi, Akihiko Terada (Tokyo University of Agriculture and Technology)
Takashi Yamamoto (National Institute for Environmental Studies)
Yukio Noma (Fukuoka Women University)
Yugo Nomura (Japan Quality Assurance Organization)
- FE-3 Mercury dispersion prediction of the coast area of Japan Sea by AIST-ADMER and HYSPLIT model**
○Khandakar Md Habib Al Razi, Moritomi Hiroshi (Gifu University)

Short oral presentation: November 3, Thursday 15:15 - 16:45 B111 1F Building B
Poster presentation: November 3, Thursday 17:00 - 18:15 1F Building E
KS: Korea Society of Waste Management

企画セッション

学会設立 20 周年を機に、これまで「研究部会小集会」として親しまれてきた各研究部会による報告会を、セッション G “企画セッション” へ名称を改め、さらには、実行委員会をはじめとする各委員会や、若手の会からの企画を盛り込むこととしました。これにより、研究発表会参加者へ広く参加いただき、研究発表会さらには本学会を通じての研究活動、社会活動が活発になされることをねらいとしています。

G1 ローカルエネルギーとしてのバイオ燃料

11 月 3 日 (木) 第 2 会場 15:15 - 16:45

(バイオマス系廃棄物研究部会)

東日本大震災やそれに伴う原発事故をきっかけに、従来の大規模・集中型のエネルギー供給システムから小規模・分散型の再生可能エネルギーの重要性が議論されるようになってきた。そこで、震災後の新たな街づくりの方策として、カーボンニュートラルなバイオマス系廃棄物を積極的に利用し、小規模ではあるが自律分散型のエネルギー供給を可能とする、持続可能な低炭素社会システムの構築を提案したい。本企画セッションでは、生産活動で必ず排出されるバイオマスの燃料化を復興と農村・都市計画の基盤的な技術やシステムにできないのか議論する。

プログラム:

1. 行政から: 国の関係省庁(環境省、農水省)など
2. メーカーから: 技術開発の現状
3. 部会の提案: 『ローカルエネルギー供給による雇用創出(被災地の表土環境修復)』
4. 市民から見た眼: NPO バイオマス産業社会ネットワーク

進め方: 各テーマについて数名が 10 分程度の話題提供を行い、引き続いて意見交換を行う。

コーディネーター: (財)京都高度技術研究所 中村 一夫

G2 支援物資をごみにしない物資支援のあり方を考える

11 月 3 日 (木) 第 3 会場 15:15 - 16:45

(消費者市民研究部会)

東日本大震災の後、被災しなかった人は何か支援をしたいと心から思い、多くの人が支援物資を被災地に送りました。ところが被災地の自治体からは「物資は足りている」という発信が早い段階でなされ、避難所に山積みになっている支援物資が報道されたりもしました。被災者でない者は何をどこにどれだけ送れば良いのか分からず、また被災者はいずれも生活物資が足りないという状況が続いています。

このセッションでは、支援物資をごみにしない支援物資の送り方について考えます。

プログラム:

1. 「ふんばろう東日本支援プロジェクト」 代表 西條 剛央氏(予定)
2. 「レスキューストックヤード」 代表 栗田 暢之氏(予定)
3. 「ワンファミリー仙台」 (報告者調整中)

進め方: 講演 20 分ずつ、パネルディスカッション 30 分を予定

コーディネーター: 名古屋大学 岡山 朋子

G3 東日本大震災の災害廃棄物の処理処分 —海面埋立処分あるいは水面埋立資材利用の可能性—

11 月 3 日 (木) 第 5 会場 15:15 - 16:45

(埋立処理処分研究部会)

東日本大震災において発生した膨大な量の災害廃棄物を、どう処理すればよいのか。被災地からの撤去が進まず、集積場所に運ばれた廃棄物の資源化・処理もこれから本格的になる状況にあるが、最後に必要となる埋立地の不足は深刻である。発生量の多さ、被災地の地理的位置を考えると、海面を利用した処分の可能性もあり得る。また埋立資材としての利用が可能ならば、災害復興に資する土地造成となるとの利点もある。本シンポジウムはその対応可能性について、土砂を中心とした津波堆積物を中心に議論する。

プログラム:

情報提供

1. 東日本大震災で発生した廃棄物
2. 海面埋立の法的整理
3. 過去の災害における海面埋立の事例
4. 海面埋立の実態と技術的対応

ディスカッション

コーディネーター: 北海道大学 松藤 敏彦

企 画 セ ッ シ ョ ン

G4 災害廃棄物とアスベスト

11月3日(木) 第6会場 15:15 - 16:45

(廃棄物試験・検査法部会)

東日本大震災において多くの建築物が地震や津波の被害を受け大量の災害廃棄物が発生している。建物倒壊現場やガレキ集積場におけるガレキ中のアスベスト含有建材の調査や分別方法には課題が多く、適切な管理手法の検討が求められている。本セッションでは被災地における現地調査の状況やガレキ集積場でのオンサイト分析等の取り組みを紹介する。合わせて過去の震災におけるアスベスト被害や調査事例も紹介し、地震災害における災害廃棄物のアスベスト対策・処理に関して意見交換を行う。

プログラム:

1. 被災地の状況報告(アスベストに関する内容を中心に)
2. 災害廃棄物からのアスベストの判定・分別について
3. 被災地でのアスベスト調査(オンサイト分析等)について
4. アスベストを含む災害廃棄物の処理について

※講演者は調整中

進め方: 各テーマについて話題提供(15分程度)を行い、意見交換を実施する。

コーディネーター: (株)環境管理センター 豊口 敏之

G5 廃棄物処理法の抱える諸問題 - 廃棄物処理の実情に即しているか? -

11月3日(木) 第7会場 15:15 - 16:45

(行政研究部会)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下「廃棄物処理法」)が制定されてから40年以上が経過した。幾度となく改正を重ね、平成23年度にも一部改正が施行された。行政研究部会では、廃棄物行政のあり方について、“再考! Waste Management”というスローガンを掲げ、議論を重ねている。廃棄物処理が適正処理だけでなく資源循環へと移行行く中、廃棄物処理法の理念では解決できない様々な問題が顕在化している。本企画セッションでは、震災廃棄物や廃棄物の区分など廃棄物処理法の問題点について自治体、研究機関、市民の視点から取り上げ、参加者と問題意識を共有し、意見交換など議論を深めていきたい。

プログラム:

1. 廃棄物処理法の問題点について (財)廃棄物研究財 藤波 博
2. 事業系一般廃棄物と市町村の処理責任 NPO 環境文明研究所 庄司 元
3. 一般廃棄物と産業廃棄物の区分上の問題点 北村行政書士事務所 北村 亨
4. 放射能汚染廃棄物の処理と問われるごみ焼却 NPO ごみ問題5市連絡会 青木 泰

進め方: 各テーマ15分程度の発表を行い、その後意見交換を行う。

コーディネーター: 早稲田大学 溝入 茂

G6 中国都市廃棄物循環利用推進に関する日中対話セッション

11月4日(金) 第7会場 9:00 - 12:00

(実行委員会)

中国では循環経済促進法を制定後、JICAの協力を得て循環資源の更なる活用に向けて、特に食品廃棄物、包装ごみ、廃タイヤを中心とする資源化の促進に向け取り組みを進めており、その手始めとして青島、嘉興、西寧、貴陽の4対象都市において排出や回収に関する実態調査を行っています。今回JICA事業の一環として昨年に引き続き10~20名の中央政府、地方政府、研究者からなる視察団が研修のため来日します。この機会を利用して昨年同様日本側関係者との対話セッションの場を設け、中国における現状や課題についての報告の後意見交換を行い、双方の知見や認識の深化に努めます。

プログラム:

1. 報告: 中国、特に4対象都市(青島、嘉興、西寧、貴陽)における都市廃棄物や食品廃棄物、包装ごみ、廃タイヤの取り扱いの現状と課題について報告
2. 日本側研究者のコメント
3. 参加者を交えた意見交換

言語: 日中逐語通訳

企画セッション

G7 未利用資源からの電力・エネルギー回収

11月4日(金) 第2会場 10:45 - 12:15

(リサイクルシステム・技術研究部会)

震災・原発事故の後、各地・業界において節電が推進(義務化)されている。ここでは、主に食品系の未利用資源を対象として、電力を中心としたエネルギー回収の事業化及び技術開発の動向を調査・検討する。

プログラム:

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. 食品廃棄物の発生とリサイクルの現状 | 秦 三和子、稲葉 陸太 |
| 2. 食品系廃棄物からの電力回収ーBDF、バイオガス等ー | 行本 正雄、加茂 徹 |
| 3. 未来のエネルギー利用ーバイオガス導管注入、バイオコークス等ー | 藤井 実 ほか1名 |

G8 POPs 規制の動きとそのフロー制御に向けて

11月4日(金) 第3会場 10:45 - 12:15

(物質フロー研究部会)

2009年に開催されたストックホルム条約第4回締約国会合では、新規の非意図的な残留性有機汚染物質(POPs)としてペンタクロロベンゼン(PeCB)が追加された他、新規 POPs としては、ポリ臭素化ジフェニルエーテル(PBDEs)やペルフルオロ(オクタンー1ースルホン酸)(PFOS)等が追加されている。家電リサイクルといったリサイクル過程と PBDEs との関係は深く、家電リサイクルへの取り組みが集中するアジアの一部の地域においては、家電に含まれる臭素系難燃剤による人の健康及び環境へのリスクが懸念されている。本企画セッションでは、POPs 規制に関する最近の動きとそのフロー制御に向けたテーマを取り上げ、議論を進める。

プログラム:

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. POPs 条約と国内行動計画について | 環境省大気課 苔口 聖史 補佐 |
| 2. BFR の影響と制御について | 国立環境研究所 滝上 英孝 室長 |
| 3. 非意図的 POPs の排出動態とツールキット | 京都大学 平井 康宏 准教授 |
| 4. 新規 POPs 関係の分析化学的課題 | (株)島津テクノリサーチ 高菅 卓三 本部長 |

進め方: 各テーマについて、4名の演者の方々から15分程度の話題提供を行い、引き続いて意見交換を行う。

コーディネーター: 京都大学 酒井 伸一

G9 集え若手!! 再出発へ向けて!!

11月4日(金) 第4会場 10:45 - 12:15

(若手の会)

「若手の会」とは、これからの学会を担っていく若手会員や学生で構成されており、若手ならではの様々な活動を続けています。参加資格などはなく、自分が若手だと思ふ人、若手の会の活動に興味がある人はどなたでも参加できます。近年の活動として、韓国廃棄物学会の若手研究者との交流会が大成功しており、年々両国からの参加人数が増え続けています。本年度は学会初日の11月3日の夜に交流会を予定しています。韓国の若手研究者と情報交換のできる貴重な機会ですので、皆様の積極的な参加をお待ちしています。また、企画セッションでは若手の会総会後に写真や動画等のメディアを使って現在のごみ事情を学生や若手研究者に紹介してもらおう企画を予定していますので、奮ってご参加ください。

G10 産業廃棄物処理業を取り巻く法制度と運用面での課題について

11月4日(金) 第5会場 10:45 - 12:15

(学術研究委員会)

産業廃棄物業界に関する法制度は、過去に発生した不適正処理(不法投棄等)の影響もあり、他産業とは逆に、年々、規制強化の方向に向かっている。一方、最終処分場の延命化や廃棄物を資源として有効利用していくためには、廃棄物を出す排出事業者側と処理業界との連携が必要不可欠である。

当セッションでは、企業活動を行っていく上で法制度面・許認可や業務面で非効率となっている部分、課題となっている部分を洗い出し、特に重要なものをピックアップして提言活動を行ってきた成果を発表するものである。

プログラム:

【法制度上の課題】

1. 産業廃棄物処理施設の設置許可申請手続きにおける所轄官庁の不統一性と弊害
2. 再委託の取扱いについて

【廃棄物処理を行う上での課題】

3. 廃棄物種類の判断の統一化・品目事例の明示について
4. 優良性評価制度のインセンティブについて
5. 排出(委託)先選定の基準について
6. マニフェストと委託契約書の一体化・合理化について

進め方: 各テーマについて10分前後で研究発表をした後、5分程度の質疑応答を設け、諸課題に関するディスカッションを行う。

企 画 セ ッ シ ョ ン

G11 地震列島日本の「災害廃棄物処理計画」－過去から未来へ伝えるべきこと(1) 事前編－

11月4日(金) 第6会場 10:45 - 12:15

(廃棄物計画部会)

災害後の廃棄物処理事業には、日常の廃棄物処理事業の復旧とその時々の特徴をもった災害廃棄物処理事業がある。未曾有の東日本大震災を受けて行う本セッションでは、「災害廃棄物処理計画」をテーマとする。阪神・淡路大震災で経験した、膨大な費用をかけての復旧・復興から生み出された数々の教訓、対応策を踏まえ、その後自治体では、「災害廃棄物処理計画」を策定することになっている。今回の震災に際して、過去の教訓をどのように活かしたのか、足りない点は何だったのか、パートナーシップのあり方等々について、実際に直面した担当者に意見を発表していただき、今後作成する「災害廃棄物処理計画」がスムーズに実施できるように、事前に準備すべき必須事項に焦点を当て議論する。

プログラム:

挨拶 10:45 - 10:50

司会進行: 大成建設(株)環境本部 臼井 直人
代表挨拶: 健康・環境デザイン研究所 中村 恵子

趣旨説明・意見発表 10:50 - 11:40

趣旨説: コーディネーター 大阪市立環境科学研究所 山本 攻氏
意見発表: テーマについてパネリストが意見発表を行う。

1. 阪神淡路大震災の経験からみた「災害廃棄物処理計画」(仮題)
神戸市環境局 環境創造部 環境保全指導課 笠原 敏夫氏
2. 東日本大震災と「災害廃棄物処理計画」(仮題)
仙台市環境局 震災廃棄物対策室 遠藤 守也氏
3. コンサルタントの立場からみた「災害廃棄物処理計画」(仮題)
国際航業(株) 東日本事業本部 第一技術部 井土 將博氏

パネルディスカッション及び質疑応答 11:40 - 12:15

パネリストによる意見交換、及び会場との質疑応答を行う。

G12 戦後の廃棄物処理と放射性廃棄物

11月5日(土) 第4会場 10:45 - 12:15

(ごみ文化研究部会)

東日本大震災では、私たちが先人から、そして歴史から学ぶべきことが多々あることを改めて思い知らされました。また、放射性廃棄物が斯界でも新たな課題となりました。このようなことから、本年度は昭和 20 年代から今日まで、廃棄物の研究にご活躍されてきた内藤幸穂先生(関東学院大学名誉教授、同大学前理事長)に、戦後の廃棄物に係わるお話をさせていただくとともに、特に、これまでも関係者間では課題であり続けてきた放射性廃棄物についても触れていただき、ご参加の皆さまともども、議論を深めていきたいと念じております。

プログラム:

挨拶: 当部会代表 福岡大学 松藤 康司
講演: 講師 関東学院大学 内藤 幸穂
(質疑討論)
司会: 八千代エンジニアリング(株) 石井 明男

参加申込方法

参加費は、下表を参照して、各参加費の合計金額をお振込または当日受付でお支払いください。

参加費

	研究発表会参加費 (CD-ROM 版論文集代込)		意見交換会参加費	
	事前申込	当日受付	事前申込	当日受付
正会員、シニア会員 公益、賛助会員所属	8,000 円	10,000 円	4,000 円	5,000 円
学生会員 個人市民会員 登録団体市民会員	4,000 円	5,000 円	2,000 円	3,000 円
非会員	12,000 円	15,000 円	5,000 円	6,000 円

事前申込の方法

- 同封の事前申込書または学会ホームページ(<http://www.jsmcwm.or.jp/taikai2011/index.html>)に掲載の事前申込書(XLS 形式)に必要事項を記入の上、電子メール(sanka22nd@jsmcwm.or.jp)、FAX または郵送にて送信してください。
 - 参加申込者氏名、E-mail アドレスをご記入ください。
 - 会員区分、意見交換会への参加の有無について、該当欄に○印を記入するかプルダウンリストから選択してください。
 - 振込元の情報(振込予定日、金融機関名、支店名、振込名義、入金担当者連絡先(TEL))をご記入ください。
- 10月7日(金)までに、下記指定銀行口座に、合計金額を一括してお振込ください。
 - 参加費の入金をもって申込完了となります。申込書送付のみでは手続きは完了しませんのでご注意ください。
 - 発表会及び意見交換会に参加されなかった場合でも返金はいたしません。
 - 入金を確認後、事務局より参加証及び CD-ROM 版論文集を送付します(10月下旬頃)。
 - 当日は直接会場へお入りください(受付での確認は不要)。
 - 領収書は参加証に添付されています。別途領収書が必要な場合は、大会当日に参加証をお持ちの上、総合受付までお越しください。

指定銀行口座

銀行名:みずほ銀行 芝支店 (店番号:054)
口座名:一般社団法人廃棄物資源循環学会研究発表会
シヤ)ハイキブツシケンジユンカンガツカケンキユウハツビヨウカイ
口座番号:普通 4196820
振込締切日:平成 23 年 10 月 7 日(金) ※振込手数料はご負担願います

事前申込・振込締切

平成 23 年 10 月 7 日(金)

※ 振込期限後は、たとえ事前に申込書を送付されていても、当日受付扱いになりますのでご注意下さい。

当日受付

- 当日、受付にて参加費をお支払いください。参加証と CD-ROM 版論文集を配布します。

問合せ先

廃棄物資源循環学会事務局 TEL:03-3769-5099 FAX:03-3769-1492

企画セッション

学会設立 20 周年を機に、これまで「研究部会小集会」として親しまれてきた各研究部会による報告会を、セッション G “企画セッション” へ名称を改め、さらには、実行委員会をはじめとする各委員会や、若手の会からの企画を盛り込むこととしました。これにより、研究発表会参加者へ広く参加いただき、研究発表会さらには本学会を通じての研究活動、社会活動が活発になされることをねらいとしています。

G1 ローカルエネルギーとしてのバイオ燃料

11 月 3 日 (木) 第 2 会場 15:15 - 16:45

(バイオマス系廃棄物研究部会)

東日本大震災やそれに伴う原発事故をきっかけに、従来の大規模・集中型のエネルギー供給システムから小規模・分散型の再生可能エネルギーの重要性が議論されるようになってきた。そこで、震災後の新たな街づくりの方策として、カーボンニュートラルなバイオマス系廃棄物を積極的に利用し、小規模ではあるが自律分散型のエネルギー供給を可能とする、持続可能な低炭素社会システムの構築を提案したい。本企画セッションでは、生産活動で必ず排出されるバイオマスの燃料化を復興と農村・都市計画の基盤的な技術やシステムにできないのか議論する。

プログラム:

1. 行政から: 国の関係省庁(環境省、農水省)など
2. メーカーから: 技術開発の現状
3. 部会の提案: 『ローカルエネルギー供給による雇用創出(被災地の表土環境修復)』
4. 市民から見た眼: NPO バイオマス産業社会ネットワーク

進め方: 各テーマについて数名が 10 分程度の話題提供を行い、引き続き意見交換を行う。

コーディネーター: (財)京都高度技術研究所 中村 一夫

G2 支援物資をごみにしない物資支援のあり方を考える

11 月 3 日 (木) 第 3 会場 15:15 - 16:45

(消費者市民研究部会)

東日本大震災の後、被災しなかった人は何か支援をしたいと心から思い、多くの人が支援物資を被災地に送りました。ところが被災地の自治体からは「物資は足りている」という発信が早い段階でなされ、避難所に山積みになっている支援物資が報道されたりもしました。被災者でない者は何をどこにどれだけ送れば良いのか分からず、また被災者はいずれも生活物資が足りないという状況が続いています。

このセッションでは、支援物資をごみにしない支援物資の送り方について考えます。

プログラム:

1. 「ふんばろう東日本支援プロジェクト」 代表 西條 剛央氏(予定)
2. 「レスキューストックヤード」 代表 栗田 暢之氏(予定)
3. 「ワンファミリー仙台」 (報告者調整中)

進め方: 講演 20 分ずつ、パネルディスカッション 30 分を予定

コーディネーター: 名古屋大学 岡山 朋子

G3 東日本大震災の災害廃棄物の処理処分 - 海面埋立処分あるいは水面埋立資材利用の可能性 -

11 月 3 日 (木) 第 5 会場 15:15 - 16:45

(埋立処理処分研究部会)

東日本大震災において発生した膨大な量の災害廃棄物を、どう処理すればよいのか。被災地からの撤去が進まず、集積場所に運ばれた廃棄物の資源化・処理もこれから本格的になる状況にあるが、最後に必要となる埋立地の不足は深刻である。発生量の多さ、被災地の地理的位置を考えると、海面を利用した処分の可能性もあり得る。また埋立資材としての利用が可能ならば、災害復興に資する土地造成となるとの利点もある。本シンポジウムはその対応可能性について、土砂を中心とした津波堆積物を中心に議論する。

プログラム:

情報提供

1. 東日本大震災で発生した廃棄物
2. 海面埋立の法的整理
3. 過去の災害における海面埋立の事例
4. 海面埋立の実態と技術的対応

ディスカッション

コーディネーター: 北海道大学 松藤 敏彦

企画セッション

G4 災害廃棄物とアスベスト

11月3日(木) 第6会場 15:15 - 16:45

(廃棄物試験・検査法部会)

東日本大震災において多くの建築物が地震や津波の被害を受け大量の災害廃棄物が発生している。建物倒壊現場やガレキ集積場におけるガレキ中のアスベスト含有建材の調査や分別方法には課題が多く、適切な管理手法の検討が求められている。本セッションでは被災地における現地調査の状況やガレキ集積場でのオンサイト分析等の取り組みを紹介する。合わせて過去の震災におけるアスベスト被害や調査事例も紹介し、地震災害における災害廃棄物のアスベスト対策・処理に関して意見交換を行う。

プログラム:

1. 被災地の状況報告(アスベストに関する内容を中心に)
2. 災害廃棄物からのアスベストの判定・分別について
3. 被災地でのアスベスト調査(オンサイト分析等)について
4. アスベストを含む災害廃棄物の処理について

※講演者は調整中

進め方: 各テーマについて話題提供(15分程度)を行い、意見交換を実施する。

コーディネーター: (株)環境管理センター 豊口 敏之

G5 廃棄物処理法の抱える諸問題 - 廃棄物処理の実情に即しているか? -

11月3日(木) 第7会場 15:15 - 16:45

(行政研究部会)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下「廃棄物処理法」)が制定されてから40年以上が経過した。幾度となく改正を重ね、平成23年度にも一部改正が施行された。行政研究部会では、廃棄物行政のあり方について、“再考! Waste Management”というスローガンを掲げ、議論を重ねている。廃棄物処理が適正処理だけでなく資源循環へと移行行く中、廃棄物処理法の理念では解決できない様々な問題が顕在化している。本企画セッションでは、震災廃棄物や廃棄物の区分など廃棄物処理法の問題点について自治体、研究機関、市民の視点から取り上げ、参加者と問題意識を共有し、意見交換など議論を深めていきたい。

プログラム:

1. 廃棄物処理法の問題点について (財)廃棄物研究財 藤波 博
2. 事業系一般廃棄物と市町村の処理責任 NPO 環境文明研究所 庄司 元
3. 一般廃棄物と産業廃棄物の区分上の問題点 北村行政書士事務所 北村 亨
4. 放射能汚染廃棄物の処理と問われるごみ焼却 NPO ごみ問題5市連絡会 青木 泰

進め方: 各テーマ15分程度の発表を行い、その後意見交換を行う。

コーディネーター: 早稲田大学 溝入 茂

G6 中国都市廃棄物循環利用推進に関する日中対話セッション

11月4日(金) 第7会場 9:00 - 12:00

(実行委員会)

中国では循環経済促進法を制定後、JICAの協力を得て循環資源の更なる活用に向けて、特に食品廃棄物、包装ごみ、廃タイヤを中心とする資源化の促進に向け取り組みを進めており、その手始めとして青島、嘉興、西寧、貴陽の4対象都市において排出や回収に関する実態調査を行っています。今回JICA事業の一環として昨年に引き続き10~20名の中央政府、地方政府、研究者からなる視察団が研修のため来日します。この機会を利用して昨年同様日本側関係者との対話セッションの場を設け、中国における現状や課題についての報告の後意見交換を行い、双方の知見や認識の深化に努めます。

プログラム:

1. 報告: 中国、特に4対象都市(青島、嘉興、西寧、貴陽)における都市廃棄物や食品廃棄物、包装ごみ、廃タイヤの取り扱いの現状と課題について報告
2. 日本側研究者のコメント
3. 参加者を交えた意見交換

言語: 日中逐語通訳

企画セッション

G7 未利用資源からの電力・エネルギー回収

11月4日(金) 第2会場 10:45 - 12:15

(リサイクルシステム・技術研究部会)

震災・原発事故の後、各地・業界において節電が推進(義務化)されている。ここでは、主に食品系の未利用資源を対象として、電力を中心としたエネルギー回収の事業化及び技術開発の動向を調査・検討する。

プログラム:

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. 食品廃棄物の発生とリサイクルの現状 | 秦 三和子、稲葉 陸太 |
| 2. 食品系廃棄物からの電力回収ーBDF、バイオガス等ー | 行本 正雄、加茂 徹 |
| 3. 未来のエネルギー利用ーバイオガス導管注入、バイオコークス等ー | 藤井 実 ほか1名 |

G8 POPs 規制の動きとそのフロー制御に向けて

11月4日(金) 第3会場 10:45 - 12:15

(物質フロー研究部会)

2009年に開催されたストックホルム条約第4回締約国会合では、新規の非意図的な残留性有機汚染物質(POPs)としてペンタクロロベンゼン(PeCB)が追加された他、新規 POPs としては、ポリ臭素化ジフェニルエーテル(PBDEs)やペルフルオロ(オクタンー1ースルホン酸)(PFOS)等が追加されている。家電リサイクルといったリサイクル過程と PBDEs との関係は深く、家電リサイクルへの取り組みが集中するアジアの一部の地域においては、家電に含まれる臭素系難燃剤による人の健康及び環境へのリスクが懸念されている。本企画セッションでは、POPs 規制に関する最近の動きとそのフロー制御に向けたテーマを取り上げ、議論を進める。

プログラム:

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. POPs 条約と国内行動計画について | 環境省大気課 苔口 聖史 補佐 |
| 2. BFR の影響と制御について | 国立環境研究所 滝上 英孝 室長 |
| 3. 非意図的 POPs の排出動態とツールキット | 京都大学 平井 康宏 准教授 |
| 4. 新規 POPs 関係の分析化学的課題 | (株)島津テクノリサーチ 高菅 卓三 本部長 |

進め方: 各テーマについて、4名の演者の方々から15分程度の話題提供を行い、引き続いて意見交換を行う。

コーディネーター: 京都大学 酒井 伸一

G9 集え若手!! 再出発へ向けて!!

11月4日(金) 第4会場 10:45 - 12:15

(若手の会)

「若手の会」とは、これからの学会を担っていく若手会員や学生で構成されており、若手ならではの様々な活動を続けています。参加資格などはなく、自分が若手だと思ふ人、若手の会の活動に興味がある人はどなたでも参加できます。近年の活動として、韓国廃棄物学会の若手研究者との交流会が大成功しており、年々両国からの参加人数が増え続けています。本年度は学会初日の11月3日の夜に交流会を予定しています。韓国の若手研究者と情報交換のできる貴重な機会ですので、皆様の積極的な参加をお待ちしています。また、企画セッションでは若手の会総会後に写真や動画等のメディアを使って現在のごみ事情を学生や若手研究者に紹介してもらおう企画を予定していますので、奮ってご参加ください。

G10 産業廃棄物処理業を取り巻く法制度と運用面での課題について

11月4日(金) 第5会場 10:45 - 12:15

(学術研究委員会)

産業廃棄物業界に関する法制度は、過去に発生した不適正処理(不法投棄等)の影響もあり、他産業とは逆に、年々、規制強化の方向に向かっている。一方、最終処分場の延命化や廃棄物を資源として有効利用していくためには、廃棄物を出す排出事業者側と処理業界との連携が必要不可欠である。

当セッションでは、企業活動を行っていく上で法制度面・許認可や業務面で非効率となっている部分、課題となっている部分を洗い出し、特に重要なものをピックアップして提言活動を行ってきた成果を発表するものである。

プログラム:

【法制度上の課題】

1. 産業廃棄物処理施設の設置許可申請手続きにおける所轄官庁の不統一性と弊害
2. 再委託の取扱いについて

【廃棄物処理を行う上での課題】

3. 廃棄物種類の判断の統一化・品目事例の明示について
4. 優良性評価制度のインセンティブについて
5. 排出(委託)先選定の基準について
6. マニフェストと委託契約書の一体化・合理化について

進め方: 各テーマについて10分前後で研究発表をした後、5分程度の質疑応答を設け、諸課題に関するディスカッションを行う。

企 画 セ ッ シ ョ ン

G11 地震列島日本の「災害廃棄物処理計画」－過去から未来へ伝えるべきこと(1) 事前編－

11月4日(金) 第6会場 10:45 - 12:15

(廃棄物計画部会)

災害後の廃棄物処理事業には、日常の廃棄物処理事業の復旧とその時々の特徴をもった災害廃棄物処理事業がある。未曾有の東日本大震災を受けて行う本セッションでは、「災害廃棄物処理計画」をテーマとする。阪神・淡路大震災で経験した、膨大な費用をかけての復旧・復興から生み出された数々の教訓、対応策を踏まえ、その後自治体では、「災害廃棄物処理計画」を策定することになっている。今回の震災に際して、過去の教訓をどのように活かしたのか、足りない点は何だったのか、パートナーシップのあり方等々について、実際に直面した担当者に意見を発表していただき、今後作成する「災害廃棄物処理計画」がスムーズに実施できるように、事前に準備すべき必須事項に焦点を当て議論する。

プログラム:

挨拶 10:45 - 10:50

司会進行: 大成建設(株)環境本部 臼井 直人
代表挨拶: 健康・環境デザイン研究所 中村 恵子

趣旨説明・意見発表 10:50 - 11:40

趣旨説: コーディネーター 大阪市立環境科学研究所 山本 攻氏
意見発表: テーマについてパネリストが意見発表を行う。

1. 阪神淡路大震災の経験からみた「災害廃棄物処理計画」(仮題)
神戸市環境局 環境創造部 環境保全指導課 笠原 敏夫氏
2. 東日本大震災と「災害廃棄物処理計画」(仮題)
仙台市環境局 震災廃棄物対策室 遠藤 守也氏
3. コンサルタントの立場からみた「災害廃棄物処理計画」(仮題)
国際航業(株) 東日本事業本部 第一技術部 井土 將博氏

パネルディスカッション及び質疑応答 11:40 - 12:15

パネリストによる意見交換、及び会場との質疑応答を行う。

G12 戦後の廃棄物処理と放射性廃棄物

11月5日(土) 第4会場 10:45 - 12:15

(ごみ文化研究部会)

東日本大震災では、私たちが先人から、そして歴史から学ぶべきことが多々あることを改めて思い知らされました。また、放射性廃棄物が斯界でも新たな課題となりました。このようなことから、本年度は昭和20年代から今日まで、廃棄物の研究にご活躍されてきた内藤幸穂先生(関東学院大学名誉教授、同大学前理事長)に、戦後の廃棄物に係わるお話をさせていただくとともに、特に、これまでも関係者間では課題であり続けてきた放射性廃棄物についても触れていただき、ご参加の皆さまともども、議論を深めていきたいと念じております。

プログラム:

挨拶: 当部会代表 福岡大学 松藤 康司
講演: 講師 関東学院大学 内藤 幸穂
(質疑討論)
司会: 八千代エンジニアリング(株) 石井 明男

発表ガイドライン

共通事項：発表者であっても参加申込、参加費は必要です。

口頭発表

1. 発表ファイルの作成

- ・ 第22回研究発表会における一般口頭発表は、PowerPoint® 2007による液晶プロジェクターでの発表とします。
- ・ ファイル名は「講演番号 演者の氏名.pptx」としてください。(例:「A1-1 廃棄物太郎.pptx」)
- ・ PowerPoint® 2003以前の形式で作成する場合は、アニメーションをできるだけ使わずに作成し、受付でPowerPoint® 2007による動作確認を行ってください。
- ・ ファイルの容量は10MB程度に収まるようにしてください。

2. 発表ファイルの受付

- ・ 発表ファイルは、USBメモリーに保存して会場に持参してください。なお、あらかじめウイルスチェックを行った上で持参してください。
- ・ ファイル受け付けは設置しません。下記の時間帯に、発表会場に準備したパソコンにインストールしてください。会場に担当者がいますので、指示に従ってください。

11月3日午前の発表者	9:00 - 9:20	午後の発表者	13:00 - 13:20
11月4日の発表者	8:30 - 8:50		
11月5日の発表者	8:30 - 8:50		
- ・ 発表ファイルは研究発表会終了後に実行委員会が責任を持って消去します。

3. 発表

- ・ 発表時間は15分間とし、発表10分間、質疑応答5分間を原則とします。
- ・ 発表予定のセッションにおいて、最終的な発表順序等は座長の指示に従ってください。
- ・ 原則として、発表者自らがノートパソコンを操作し、発表を行ってください。
- ・ 発表開始時刻に遅刻した場合は原則発表できません。時間を超過した場合は発表を打ち切られることがあります。

ポスター発表・国際セッション

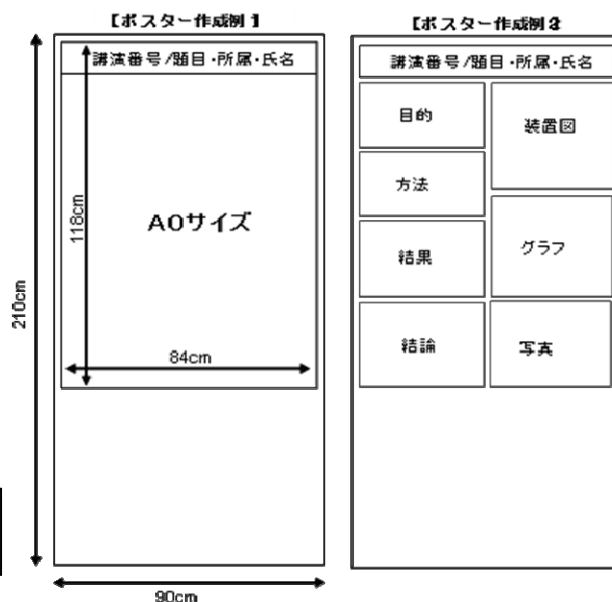
1. 発表ポスターの作成

- ・ パネルのサイズは、タテ210cm×ヨコ90cmです。ポスターサイズは、A0サイズ(タテ119cm×ヨコ84cm)以内で準備してください。
- ・ パネルの最上部タテ10cm部分には大きな文字で、講演番号、題目、所属、氏名を明記してください。
- ・ 実験サンプル等を持ち込むことは可とします。ただし、かさばるもの、電源を必要とするもの、商品宣伝の意図を強く題した内容のものは不可とします。

2. 発表ポスターの貼付と撤収

- ・ ポスター会場の受付にて発表者リボン、貼付用ピン、テープなどを受け取り貼付に際しての注意事項を確認してください。
- ・ ポスターの撤収は発表者の責任でお願いします。

ポスターの貼付作業時間	11月3日(木) 9:30 - 16:45
ポスターの撤収時間	11月4日(金) 14:45 - 18:00



3. 発表

- ・ セッションプログラムとタイムスケジュールに指定された発表時間に、ポスターの前で説明を行ってください。「ポスター1」と国際セッションのポスター発表は1日目、「ポスター2」は2日目に行います。
- ・ 国際セッションは、口頭発表とポスターの掲示発表の両方を行います。口頭発表の発表時間は90秒で質疑応答はありません。発表ファイルは事前に送付していただく予定です。その送付先、発表ガイドライン等は、発表者に追ってお知らせします。

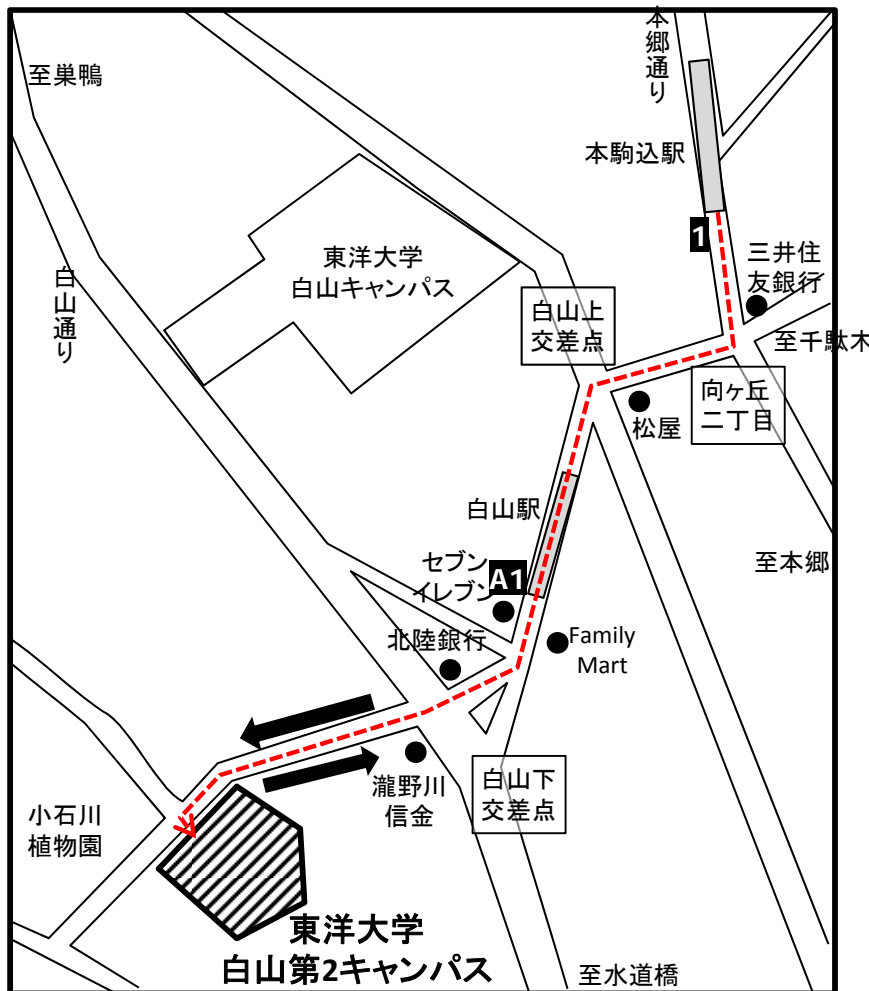
4. 優秀ポスター賞審査方法について

- ・ ポスター賞審査は、学術研究委員が、1日目終了後より厳正に行い6件選出する予定です。国際セッション優秀ポスター賞審査は、国際委員会が行い3件選出する予定です。結果はポスター発表終了後、「総合受付」、「ポスター会場」に掲示します。
- ・ なお、今年は会場の関係で、意見交換会会場でのポスター賞の表彰は行いません。
- ・ 学会終了後、受賞者のポスターのPDFファイルを、学会HPに掲載します。

会場へのアクセス

会場は、白山キャンパスではなく、白山第2キャンパスとなります。お間違いないようお願いいたします。

白山第2キャンパスへは、都営地下鉄三田線「白山」駅A1出口から徒歩6分、東京メトロ南北線「本駒込」駅1番出口から徒歩12分です。



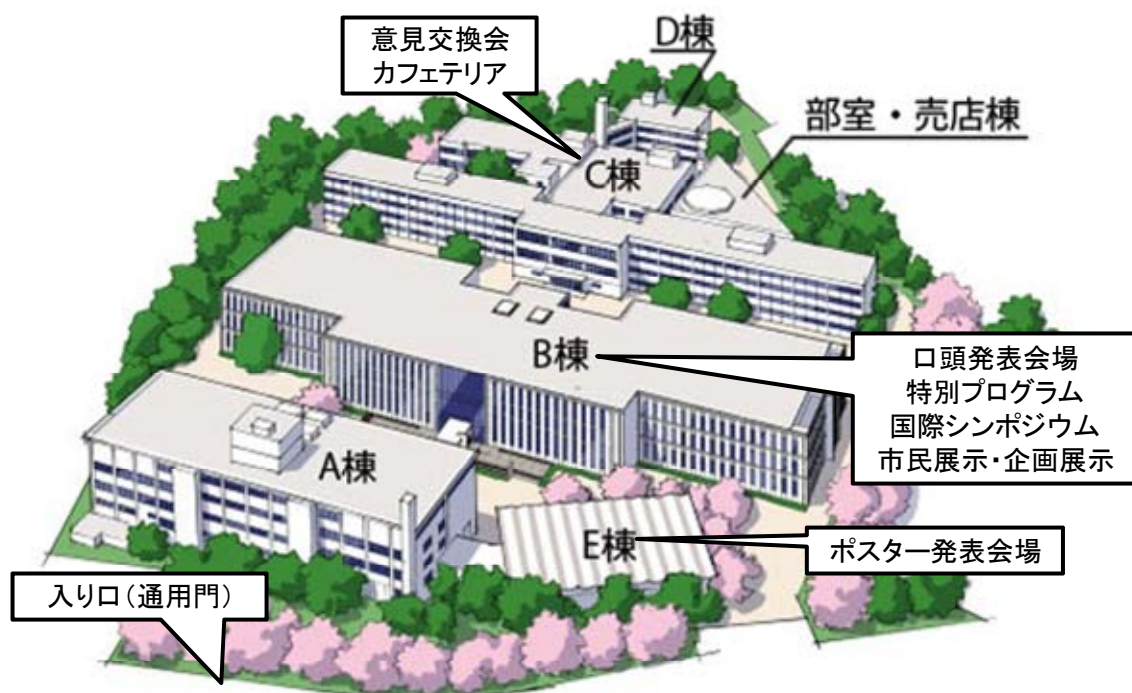
白山下交差点から 本キャンパスへの 通学路について

登校時は北側(進行方向右側)の歩道を
下校時は南側の歩道
(キャンパス側)を
通行するよう
お願いいたします。

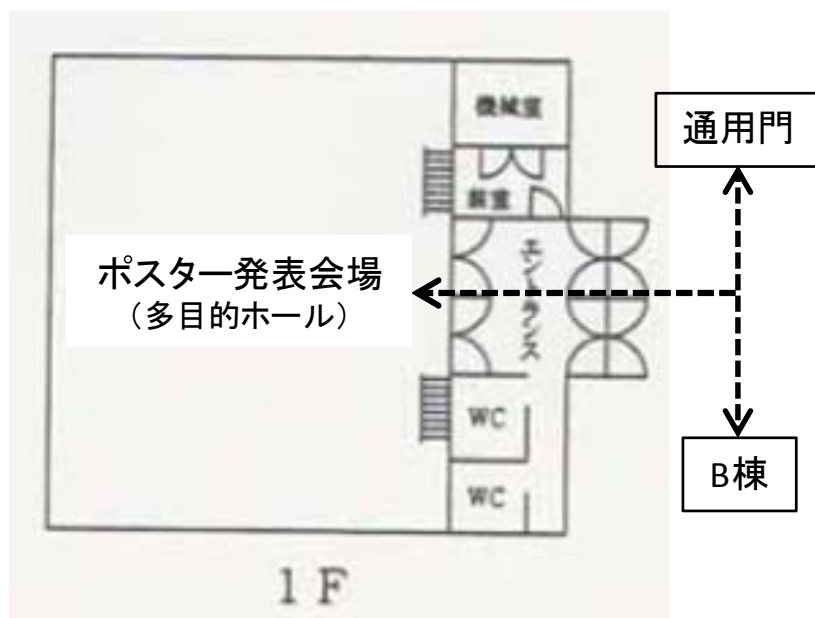
来校者への注意事項

- ◎ 白山下交差点より白山第2キャンパスへの通学路ですが、歩道が狭くなっております。混雑時は、上の地図にあるように、登校時は北側(キャンパスと反対側)の歩道を、下校時は南側(キャンパス側)の歩道を利用するようお願いいたします。なお、誘導員の指示に従い、静粛にご通行いただくようお願いいたします。
- ◎ 会場キャンパスは、自家用車、自動二輪車、自転車での来校を禁じております。公共交通機関を用いてご来場ください。
- ◎ 学会開催時はキャンパス内の食堂は営業予定ですが、座席数は限られております。また、近隣で昼食が取れるレストランなども限られておりますので、時間に余裕のない方は昼食の持参をお勧めします。なお、休憩室等で昼食をお取りいただくことは可能です。その際、発生するごみについては、会場内の休憩室において回収します。キャンパス内に大学が設置しているゴミ箱は利用されないようお願いいたします。
- ◎ 会場キャンパス内は指定場所以外禁煙となっております。また、文京区は歩行喫煙禁止条例を制定しており、歩きタバコが禁止されている他、地下鉄駅出入口付近での喫煙も禁止されております。

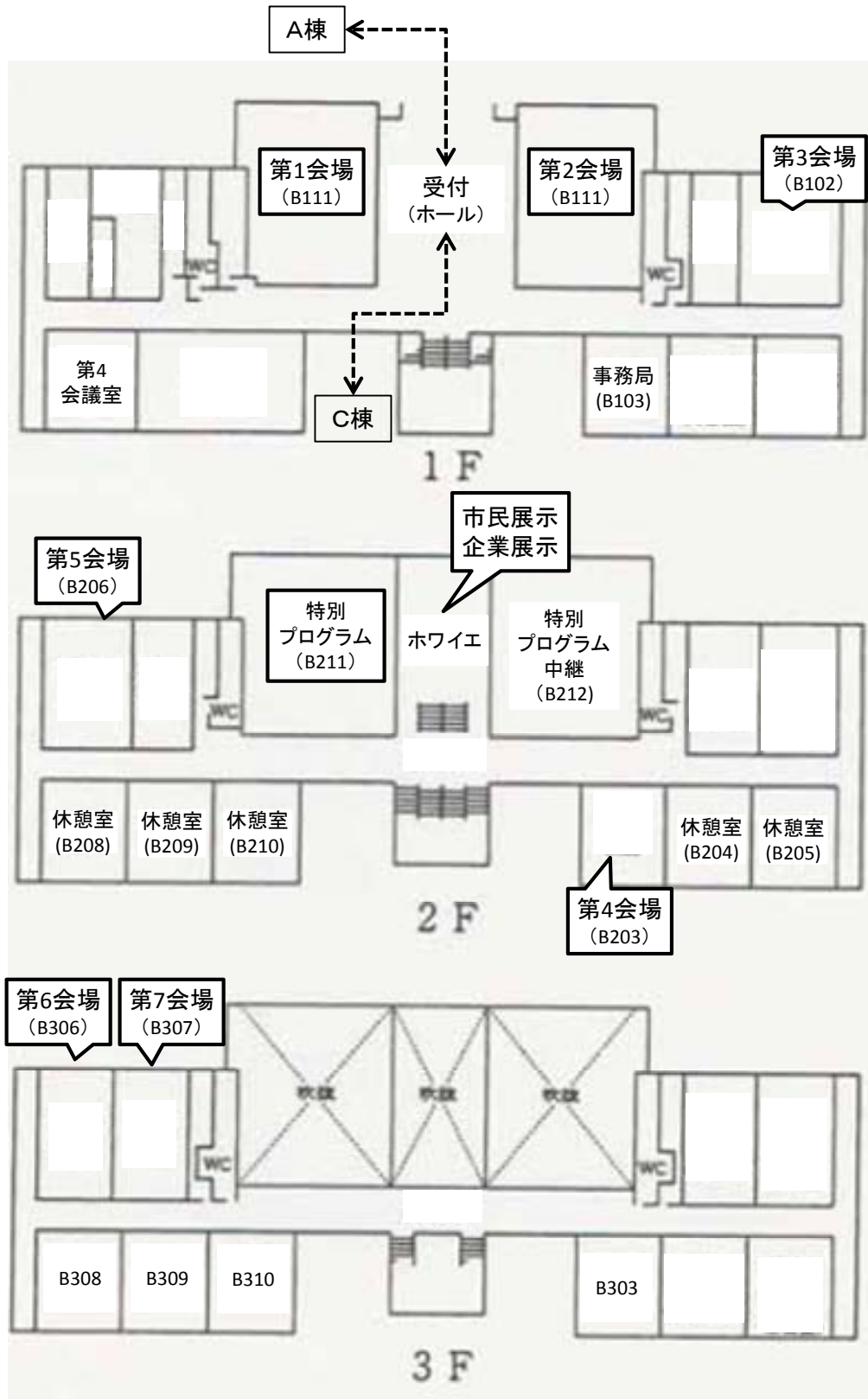
東洋大学白山第二キャンパス



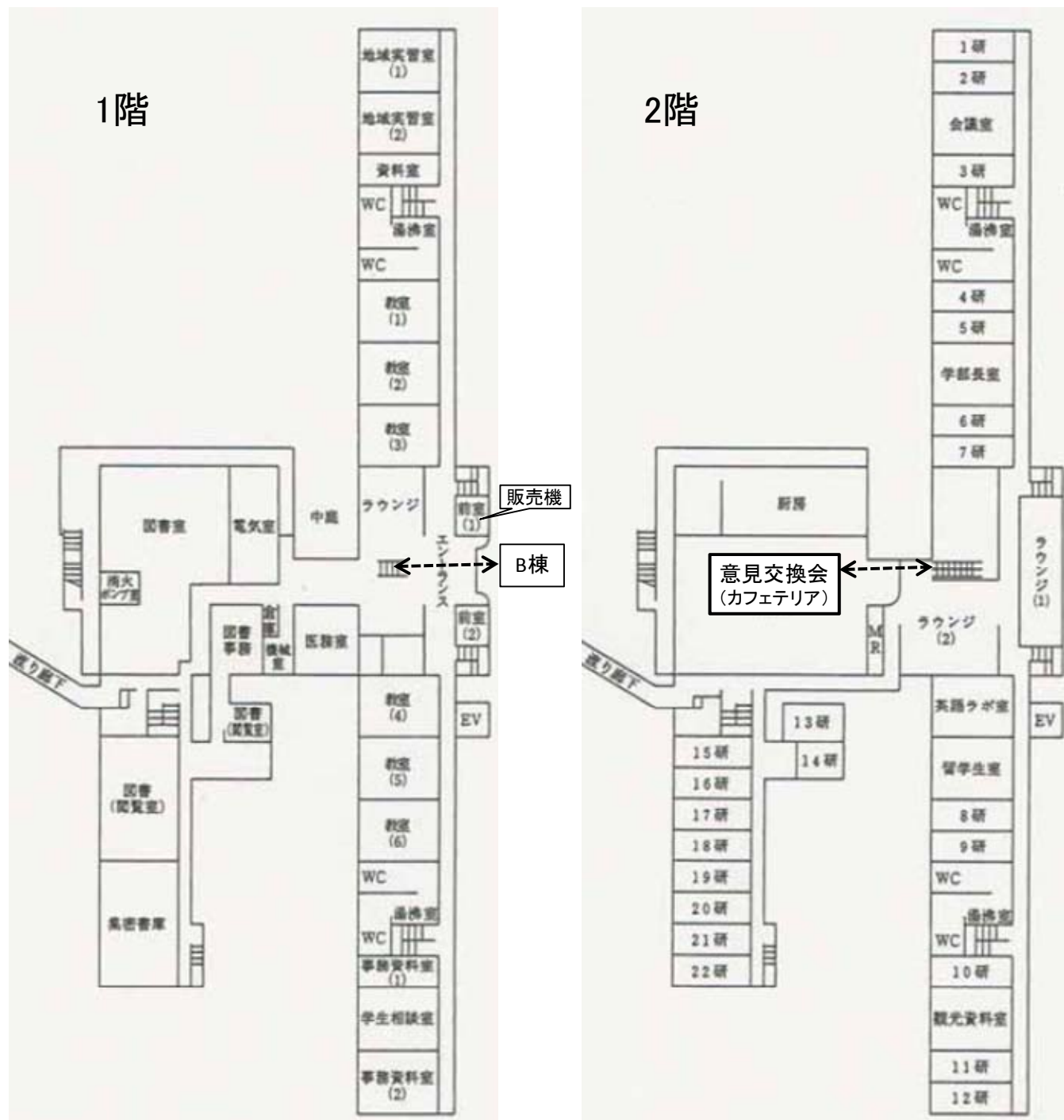
E棟(ポスター発表会場)



B棟(口頭発表会場、特別プログラム、国際シンポジウム、市民展示・企業展示)



C棟(意見交換会、カフェテリア)



緊急時の問い合わせ先

- ◎ 地震や台風などの緊急時における学会の開催等の対応については、学会の臨時ホームページ: <http://ismcwm.or.jp/li/>でお知らせします。(携帯電話のweb閲覧機能に対応していますが、一部の機種では表示できない可能性があります。)
- ◎ その他の場合の連絡先 11月1日(火)まで 廃棄物資源循環学会事務局: 03-3769-5099 (11月2日(水) - 5日(土) 不在)
11月3日(木)~5日(土) 大会本部 : 080-5094-8963

協賛団体



NIPPON STEEL ENGINEERING

新日鉄エンジニアリング

株式会社タクマ

JWRF 財団法人 廃棄物研究財団
JAPAN WASTE RESEARCH FOUNDATION



株式会社 エックス都市研究所
EX Research Institute Ltd.
Environmental and Regional Planning, Research and Consulting

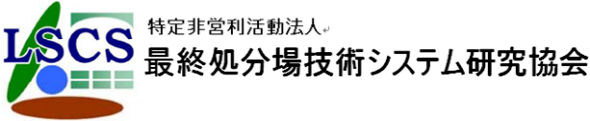


Earth Support Corporation

IKC 株式会社 市川環境エンジニアリング



荏原環境プラント株式会社



特定非営利活動法人
最終処分場技術システム研究協会



JFE エンジニアリング 株式会社



株式会社 神鋼環境ソリューション
KOBELCO ECO-SOLUTIONS CO., LTD.



株式会社 東和テクノロジー



スチール缶リサイクル協会



財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター



潤いある未来へ
株式会社 日水コン
〒163-1122 東京都新宿区西新宿 6-22-1 新宿スクエアタワー
TEL 03-5323-6200(代) FAX 03-5323-6480



産業廃棄物適正処理のマスコット
「てき丸君」

すべての企業に環境マネジメントシステムを
EDISON



IKE 株式会社 IHI 環境エンジニアリング



川崎重工



「社会基盤の礎」として、震災からの復興を環境面からサポートします。



社団法人 愛知県産業廃棄物協会



財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団

PLANT SERVICE

ASPEX
危機管理産業展2011 特別併催企画
アスベスト&環境リスク対策展'11
Measures of Asbestos & Environmental Risk
Exhibition and Conference

DOWA エコシステム



Hitz 日立造船株式会社
Hitachi Zosen



社団法人 プラスチック処理促進協会

タイムスケジュール

		第1会場 B111(1F)	第2会場 B112(1F)	第3会場 B102(1F)	第4会場 B203(2F)	第5会場 B206(2F)	第6会場 B306(3F)	第7会場 B307(3F)	ホワイエ (2F)		
11 月 3 日 (木)	09:00- 受付										
	09:30-10:45	D7 不法投棄・ 汚染土壌	B1 電気電子製品/ 自動車 リサイクル	B7 有機性廃棄物の 資源化		D2 海面埋立1	A2 経済的手法・ リサイクル評価	A5 廃棄物管理/ 計画	企 市 画 民 展 示		
	11:00-12:15		C3 焼却残渣・ 溶融スラグ	B8 バイオガス化1		D3 海面埋立2	A10 ごみ文化・歴史	A4 廃棄物行政			
	13:00-15:00	International Symposium	A11 災害廃棄物	B9 バイオガス化2		D1 埋立工法/ しゃ水	B3 廃石膏/ 建設廃棄物 リサイクル	A1 ごみ発生・ 排出抑制			
15:15-16:45	International Hybrid Session (Short Oral)	G1 ローカルエネルギー としてのバイオ燃料	G2 支援物資をごみに しない物資支援の あり方を考える		G3 <small>東日本大震災の災害 廃棄物の処理処分 ー海面埋立処分あるいは水 面埋立資材利用の可能性ー</small>	G4 災害廃棄物と アスベスト	G5 <small>廃棄物処理法の抱える 諸問題 ー廃棄物処理の実情に 即しているか？ー</small>				
17:00-18:15	ポスター発表 (第1グループ: プログラム中に"Poster1"と表記) International Hybrid Session (Poster)					E棟 1F 多目的室					
11 月 4 日	09:00-10:30	D5 埋立地 早期安定化・ 跡地利用	B2 プラスチックの 資源化	A7 LCA・ 低炭素社会	E1 廃石綿	A3 住民意識・ 環境教育	A8 海外調査	G6 <small>中国都市廃棄物 循環利用推進に 関する日中対話 セッション</small>	企 市 画 民 展 示		
	10:45-12:15		G7 <small>未利用資源からの 電力・エネルギー回収</small>	G8 <small>POPs規制の動きと そのフロー制御に 向けて</small>	G9 <small>集え若手!! 再出発へ向けて!!</small>	G10 <small>産業廃棄物処理業を 取り巻く法制度と運用 面での課題について</small>	G11 <small>地震列島日本の「災害廃棄 物処理計画」 ー過去から未来へ伝える べきこと(1)事前編ー</small>				
	13:15-14:30	ポスター発表 (第2グループ: プログラム中に"Poster2"と表記)					E棟 1F 多目的室				
	14:45-17:45	特別プログラム 「震災に対して廃棄物資源循環学会が貢献できることは何か？」					B棟 2F B211				
18:00-20:00	意見交換会					C棟 2F カフェテリア					
11 月 5 日 (土)	09:00-10:30	C1 焼却・ 排ガス処理	B4 無機性廃棄物の 資源化	B5 食品廃棄物/ 生ごみの資源化		D4 埋立地ガス/ 浸出水	E2 有害廃棄物1	A9 国際循環・ 越境移動	企 市 画 民 展 示	施 設 見 学 会	
	10:45-12:15	C2 ガス化溶融・ ごみ発電	B6 下水汚泥/ 家畜排せつ物の 資源化	B10 バイオ燃料・ タール改質	G12 <small>戦後の廃棄物処理と 放射性廃棄物</small>	D6 埋立地内有害 物質等の挙動	E3 有害廃棄物2	A6 ごみフロー・ 物質フロー			

G1-G12: 企画セッション(実行委員会・学術研究委員会・研究部会企画)

網掛けされたプログラムは一般公開・無料であることを表しています。

全国環境研協議会 年会併設研究発表会:

11/4(金)9:00-12:00 B棟 3F B303教室